

カリキュラムマップ

カリキュラムマップとは、授業科目と教育目標の関係を示した表のことで、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に基づき、各科目が卒業するまでに身につける能力のどの項目と関連するのかが示しています。

このカリキュラムマップにより、学修内容の順次性や科目間の関連性が一目でわかり、自らの学修内容を容易に把握することができます。

教養教育科目 カリキュラムマップ

①教養部における「人材の養成・教育研究上の目的」（P.43参照）に則り、教養教育のカリキュラムは、大学教育の土台となる「基礎学力の育成」、ならびに多様な知識と価値観および深い洞察力を涵養する「リベラル・アーツの修得」を柱とする。②「基礎学力の育成」においては、情報収集力や言語表現力などの基礎学習力を培い、さらに課題発見力、論理的思考力、問題解決力、自己表現力を育成するために多彩な教育科目を展開する。③「リベラル・アーツの修得」においては、新たな価値の創造と知の多様性に対応できる人材の養成を目指して、人文科学・社会科学・自然科学の広範な領域、及び学際的なテーマを網羅した多種多様な科目を開講する。										
教養教育科目 カリキュラムマップ										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2	B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性	基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5
			高い倫理 性と豊かな 人間性 の涵養	多様な 文化と 価値観 の理解	他者との 協調性	情報収 集力を 培う	言語表 現力を 培う	課題発 見力を 養う	論理的 思考力 を養う	問題解 決力を 養う
宗教学Ⅰ B111-113-01	「建学の精神」を学び、また、多様な宗教の見方・捉え方（分類法など）や、世界各地の宗教の概要・歴史を学習する。	宗教を客観的に学ぶことで高い倫理性を持った人間性を獲得し、また、世界各地の宗教を学ぶことで多様な文化・価値観を理解する。	◎	◎	◎	○		○	○	○
宗教学Ⅱ B111-113-02	インドで生まれた仏教・禅の教え（世界観・価値観）の基本を学び、世界各地へ伝わった歴史を学ぶ。	仏教の智慧を学ぶことで、課題発見力や問題解決力を養い、また、慈悲を学ぶことで、他者との協調性を養い、価値観の多様化した現代においても力強く生きられる柔軟性を得る。	◎	◎	◎	○		○	○	○
教養セミナー 「学問の発見」Ⅰ B132-841-01	教員の専門性を生かしながら、学生の学びへの姿勢を喚起させる。そのため、愛知学院大学教養部が編纂した教養セミナーハンドブック第Ⅰ部『大学で学ぶために』を共通テキストとして使用する。	リベラル・アーツへの目覚めを喚起し、高校までの受動的な学習形態から、大学での能動的な学習形態へ導き、大学で学ぶための心構えを意識させることを目標とする。	○	○	○	○	◎	◎	○	○
教養セミナー 「学問の発見」Ⅱ B132-841-02	教員の専門性を生かしながら、学生の学びへの姿勢を喚起させる。そのため、愛知学院大学教養部が編纂した教養セミナーハンドブック第Ⅰ部『大学で学ぶために』を共通テキストとして使用する。	リベラル・アーツへの目覚めを喚起し、高校までの受動的な学習形態から、大学での能動的な学習形態へ導き、大学で学ぶための心構えを意識させることを目標とする。	○	○	○	○	◎	◎	○	○
教養セミナー 「学問の発見」Ⅲ B232-841-03	「教養セミナーⅠ・Ⅱ」の発展系の授業として「学問の発見」をより深く考える科目であり、各担当教員の専門性を活かした形で授業として少人数のセミナー形式で授業が行われる。	各担当教員による幅広い分野の専門性を活かした科目として、学問に対する好奇心や探究心などをより一層高めることを目標とする。	○	○	○	○	◎	◎	○	○
教養セミナー 「学問の発見」Ⅳ B232-841-04	「教養セミナーⅠ・Ⅱ」の発展系の授業として「学問の発見」をより深く考える科目であり、各担当教員の専門性を活かした形で授業として少人数のセミナー形式で授業が行われる。	各担当教員による幅広い分野の専門性を活かした科目として、学問に対する好奇心や探究心などをより一層高めることを目標とする。	○	○	○	○	◎	◎	○	○
心理学Ⅰ B131-285-01	心理学は、心の営みを科学的に解明しようとする学問分野で、認知、生理、発達、教育、社会、臨床など様々な領域から成り立っている。各領域の代表的な知見に触れながら、基本的な心の仕組みと働きを学ぶ。	様々な実証的研究知見に基づき、心の仕組みや働きを理解し、自己の心の働きや行動について内省したり、自己や他者の心の働きに関心を向けたりすることにより、良好な人間関係を構築できるようになること。	○	○	○			◎	○	◎
心理学Ⅱ B131-285-02	心理学は、心の営みを科学的に解明しようとする学問分野で、認知、生理、発達、教育、社会、臨床など様々な領域から成り立っている。各領域の代表的な知見に触れながら、基本的な心の仕組みと働きを学ぶ。	様々な実証的研究知見に基づき、心の仕組みや働きを理解し、自己の心の働きや行動について内省したり、自己や他者の心の働きに関心を向けたりすることにより、良好な人間関係を構築できるようになること。	○	○	○			◎	○	◎
哲学Ⅰ B131-111-01	哲学史、倫理学、社会哲学、科学哲学、等々、哲学という広範な学問領域の中から分野を絞り込んで概説する。各々の分野を通して、哲学という学問一般に特徴的な思考様式や方法論の理解・習得を目指す。	言葉＝ロゴスによる説得という哲学的な思考様式の特徴を理解すると同時に、その思考様式を身の周りの具体的な問題に適用できる応用力を養う。	○	△	△		○	◎	◎	△
哲学Ⅱ B131-111-02	哲学史、倫理学、社会哲学、科学哲学、等々、哲学という広範な学問領域の中から分野を絞り込んで概説する。各々の分野を通して、哲学という学問一般に特徴的な思考様式や方法論の理解・習得を目指す。	言葉＝ロゴスによる説得という哲学的な思考様式の特徴を理解すると同時に、その思考様式を身の周りの具体的な問題に適用できる応用力を養う。	○	△	△		○	◎	◎	△

教養教育科目 カリキュラムマップ										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3				
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成				
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5
			高い倫理 性と豊かな 人間性の 涵養	多様な 文化と 価値観 の理解	他者と の協調 性	情報収 集力を 培う	言語表 現力を 培う	課題発 見力を 養う	論理的 思考力 を養う	問題解 決力を 養う
論理学Ⅰ B131-111-11	現代記号論理学を中心に、命題論理と述語論理の基礎を学ぶと同時に、それを一つの素地にして形成された言語哲学やクリティカル・シンキングといった、発展的・実践的分野についても一定の理解を得る。	命題論理と述語論理の基本となる考え方を学んで、人間の思考における論理の役割を理解すると同時に、問題演習等を通して論理的な推論実践の技術を磨く。					○		◎	△
論理学Ⅱ B131-111-12	現代記号論理学を中心に、命題論理と述語論理の基礎を学ぶと同時に、それを一つの素地にして形成された言語哲学やクリティカル・シンキングといった、発展的・実践的分野についても一定の理解を得る。	命題論理と述語論理の基本となる考え方を学んで、人間の思考における論理の役割を理解すると同時に、問題演習等を通して論理的な推論実践の技術を磨く。					○		◎	△
文学Ⅰ B131-135-01	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものごとを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力、を修得することを目標とする。		◎		△	○	○	◎	
文学Ⅱ B131-135-02	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものごとを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力、を修得することを目標とする。		◎		△	○	○	◎	
美術Ⅰ B131-116-01	美術の歴史、人物、環境等を通し現代社会の美術の見方、考え方を学び美術の基本姿勢を修得させていく。	美術の基本的な姿勢や見方を修得する。個々の美術観を築き表現法を見出ししていく。	◎	○	○	△	○	○	○	△ ◎
美術Ⅱ B131-116-02	美術の基本理念に基づき多様に広がる美術事情を探り自己の美意識を広げ表現力を高めていく。	美術の理念を深め自己の造形に表現力を加え、美術の基礎の確立を計る。	◎	○	○	△	○	○	○	△ ◎
経済学Ⅰ B131-231-01	経済学の基礎概念をミクロ経済学で扱うトピックスを中心に概説する。	ミクロ経済学の基本的な概念を理解し、ミクロ経済学的に経済事象を論じることができるよう基礎的能力を身につける。						○	◎	◎
経済学Ⅱ B131-231-02	経済学の基礎概念をマクロ経済学で扱うトピックスを中心に概説する。	マクロ経済学の基本的な概念を理解し、マクロ経済学的に経済事象を論じることができるよう基礎的能力を身につける。						○	◎	◎
社会学Ⅰ B131-261-01	本講義は、具体例を挙げながら、社会学が考えてきたこと、明らかにしてきたことを確認し、社会学の概念や方法を理解していきます。また、それらの知識を用いて、現代社会の諸課題についても考えます。	社会学の「問い」、「概念」、「方法」を理解すること。そして、社会学的思考を用いて、自ら現代社会の諸課題の様相について説明できるようになること。	○	◎		△		○	◎	○
社会学Ⅱ B131-261-02	本講義は、社会階層、文化集団、コミュニティ等を取り上げ、社会学的な視点からそれらの集団の特徴を理解していきます。そして各集団と現代社会の諸課題の関連についても考えていきます。	各集団の特徴を理解すること。そして、現代社会の諸課題が各集団のなかでなぜ発生し、どのように顕在化していくのかについて説明できるようになること。	○	◎		△		○	◎	○
教育学Ⅰ B131-271-01	教育学は、人がよりよく生きるために欠かせない「教育」を対象とする学問である。その特徴は哲学、歴史学、社会学、行政学などの学問を基礎とした学際的な性格にあり、本授業では教育を様々な角度から考察する。	教育学の基礎的知識や概念を理解できるとともに、その基礎知識や概念を利活用して現代の教育状況について多面的に考察でき、さらに自らが社会の形成者として教育についての意見を持つことができることを目指す。	○			○		◎	◎	○ ○
教育学Ⅱ B131-271-02	教育学は、人がよりよく生きるために欠かせない「教育」を対象とする学問である。その特徴は哲学、歴史学、社会学、行政学などの学問を基礎とした学際的な性格にあり、本授業では教育を様々な角度から考察する。	教育学の基礎的知識や概念を理解できるとともに、その基礎知識や概念を利活用して現代の教育状況について多面的に考察でき、さらに自らが社会の形成者として教育についての意見を持つことができることを目指す。	○			○		◎	◎	○ ○
歴史学Ⅰ B131-161-01	文献資料や映像資料を駆使して、日本及び外国の歴史に関する講義を行っている。また受講生に対して、授業内では講義内容に関する感想を書かせたり、定期試験では主に論述問題を課したりしている。	歴史における文化の形成を広い視野に立って考察することによって、歴史的思考力を培い、日本や外国の成立の歴史的過程と特質を把握させて、近代市民としての自覚を深める。	○	◎	△	○	○	◎	○	○ ○

教養教育科目 カリキュラムマップ										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3				
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成				
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5
			高い倫理 性と豊かな 人間性の 涵養	多様な 文化と 価値観 の理解	他者と の協調 性	情報収 集力を 培う	言語表 現力を 培う	課題発 見力を 養う	論理的 思考力 を養う	問題解 決力を 養う
歴史学Ⅱ B131-161-02	文献資料や映像資料を駆使して、日本及び外国の歴史に関する講義を行っている。また受講生に対して、授業内では講義内容に関する感想を書かせたり、定期試験では主に論述問題を課したりしている。	歴史における文化の形成を広い視野に立って考察することによって、歴史的思考力を培い、日本や外国の成立の歴史的過程と特質を把握させて、近代市民としての自覚を深める。	○	◎	△	○	○	◎	○	○
地理学Ⅰ B131-181-01	地理学の基礎的な知識を、国内外の社会の中にみられる具体的な事例を挙げながら紹介する。社会や自然を構成する多様な要素を取り上げ、それらの相互関係や、分布の差異を示すことで、地理学的なもののとらえ方を身に着ける。	社会の中にみられる諸現象を地理学的な観点から説明することができる。世界あるいは日本の中にみられる多様性と地域性について理解することができる。	△	◎	○	○		○	◎	○
地理学Ⅱ B131-181-02	地理学が扱う多様な課題の中から特定のものを取り上げ、その問題を関連する事象とともに追究する。このことによって、取り上げる課題についての理解を深めるとともに、地理学的なもののとらえ方についても深化させる。	取り上げる地理学的課題についての基礎的な知識事項を述べるができる。取り上げる地理学的課題を通じて、世界・日本の社会・自然のあり方について、論理的な考察が行えるようになる。	△	◎	○	○		○	◎	○
数学Ⅰ B131-323-01	数学の問題を解くことを通して、数学的な手法と論理的思考を学ぶ。	社会で生きていく上で必要な数学的手法と論理的思考の習得を到達目標とする。						○	◎	◎
数学Ⅱ B131-323-02	数学の問題を解くことを通して、より進んだ数学的な手法と論理的思考を学ぶ。	社会で生きていく上で必要な、より進んだ数学的手法と論理的思考の習得を到達目標とする。						○	◎	◎
統計学Ⅰ B131-603-01	統計の問題を解くことを通して、統計的な手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ統計的手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。				◎		○	○	◎
統計学Ⅱ B131-603-02	統計の問題を解くことを通して、より進んだ統計的な手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ、より進んだ統計的手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。				◎		○	○	◎
物理学Ⅰ B131-420-01	歴史を辿ったり、身近な現象を題材にしたりしながら、生活や社会に密接に関わっている『物理』を学ぶ。	なぜ？という疑問を持ち、それを解決するために論理的に考える力を身につける。						△	◎	○
物理学Ⅱ B131-420-02	歴史を辿ったり、身近な現象を題材にしたりしながら、生活や社会に密接に関わっている『物理』を学ぶ。	なぜ？という疑問を持ち、それを解決するために論理的に考える力を身につける。						△	◎	○
化学Ⅰ B131-420-11	化学の基礎を学びながら、日常生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。「なぜこうなるの？」といった好奇心から出発して、化学の面白さを伝えます。	素朴な疑問をもとに、文系の学生にとっての化学に対する苦手意識を軽減します。化学的なモノの考え方を修得し、科学リテラシーや論理的思考力を身につけることを目標とします。						△	◎	○
化学Ⅱ B131-420-12	化学の基礎を学びながら、日常生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。「なぜこうなるの？」といった好奇心から出発して、化学の面白さを伝えます。	素朴な疑問をもとに、文系の学生にとっての化学に対する苦手意識を軽減します。化学的なモノの考え方を修得し、科学リテラシーや論理的思考力を身につけることを目標とします。						△	◎	○
生物学Ⅰ B131-420-21	身近なできごとやさまざまな社会問題と生物学の関わりを知り、生物を理解するために必要な教養レベルでの基礎的知識と概念を学ぶ。	社会生活の中で直面する様々な医療問題や環境問題などを正しく理解し、また自分で考えるために必要な基礎的な生物学的知識を身につける。				△		○	◎	◎
生物学Ⅱ B131-420-22	身近なできごとやさまざまな社会問題と生物学の関わりを知り、生物を理解するために必要な教養レベルでの基礎的知識と概念を学ぶ。	社会生活の中で直面する様々な医療問題や環境問題などを正しく理解し、また自分で考えるために必要な基礎的な生物学的知識を身につける。				△		○	◎	◎
情報科学Ⅰ B131-601-01	コンピュータを扱うことを通して、コンピュータとネットワークの知識を習得する。	社会生活に役立つコンピュータとネットワークの知識と、その倫理的問題点の習得を到達目標とする。				◎		○	○	◎
情報科学Ⅱ B131-601-02	コンピュータを扱うことを通して、コンピュータとネットワークのより進んだ知識を習得する。	社会生活に役立つより進んだコンピュータとネットワークの知識と、その倫理的問題点の習得を到達目標とする。				◎		○	○	◎

教養教育科目 カリキュラムマップ										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3				
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成				
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5
			高い倫理 性と豊かな 人間性の 涵養	多様な 文化と 価値観 の理解	他者と の協調 性	情報収 集力を 培う	言語表 現力を 培う	課題発 見力を 養う	論理的 思考力 を養う	問題解 決力を 養う
情報科学Ⅲ B131-601-03	コンピュータを通して、データサイエンスに関してリテラシーレベルよりも一歩進んだ知識を習得する。	データサイエンスに関して、リテラシーレベルよりも一歩進んだ知識と、その倫理的問題点の習得を到達目標とする。				◎		○	○	◎
情報科学Ⅳ B131-601-04	コンピュータを通して、データサイエンスに関してより進んだ知識を習得する。	データサイエンスに関して、より進んだ知識と、その倫理的問題点の習得を到達目標とする。				◎		○	○	◎
仏教と現代社会Ⅰ B231-112-01	現代社会の諸問題に関する仏教からの提言	仏教的価値観を対立軸として、現代社会の価値観や諸課題を考える力を育てる	○	◎	◎	○		○	○	○
仏教と現代社会Ⅱ B231-112-02	現代社会の諸問題に関する仏教からの提言	仏教的価値観を対立軸として、現代社会の価値観や諸課題を考える力を育てる	○	◎	◎	○		○	○	○
禅と人間Ⅰ B231-112-11	禅の概要および禅宗の特徴を概説し、禅語（公案）を通じて禅の思想を解説するとともに、坐禅の実習によって禅の修行を体感する	坐禅や公案の学習などの禅の修行生活の重要な要素を通じて、禅の本質を理解する	◎	○			△		○	
禅と人間Ⅱ B231-112-12	中国および日本における禅宗の歴史や思想を概説し、禅の影響のもと成立した茶道・絵画・建築・陶磁器・書などの日本独自文化を解説する。	禅と日本文化との関係を具体的に理解し、禅によって培われた日本独自の美意識や感性を体得する	○	◎						△
生命に関する諸問題Ⅰ B231-118-01	「生と死」という解決し難い古来からのテーマについて、自然・人文・社会科学などの多様な視点・観点からアプローチする。	総合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見い出したりする力をつける。自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築く。	◎	○		○		◎	○	○
生命に関する諸問題Ⅱ B231-118-02	「生と死」という解決し難い古来からのテーマについて、自然・人文・社会科学などの多様な視点・観点からアプローチする。	総合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見い出したりする力をつける。自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築く。	◎	○		○		◎	○	○
人間行動の理解Ⅰ B231-285-01	心理学で扱う理論や事象は実験や調査で得られたデータに基づいている。本講義では、実際に実験を行い、仮説検証の考えからデータの収集方法、結果の解釈に至るまで、心理学の基本的な方法論について理解を深める。	心の仕組みや働きを明らかにするための様々な方法論を理解したうえで、科学的な手続きと正確なデータ収集の重要性を認識し、さらにそれらをまとめて論理的な報告書の作成ができるようになること。	○	○	○	◎		◎	○	○
人間行動の理解Ⅱ B231-285-02	フロイトの精神分析の口語版といわれる「交流分析」の理論と実践について学ぶ。交流分析は、パーソナリティ理論やコミュニケーション理論を含む心理療法のひとつであり、自己洞察を繰り返すことで、より良い人間関係と自己の生き方を築くことを目指す。	自己理解と他者理解を深め、よりよいコミュニケーションと自己の問題点の把握と改善へつなげること。	○	○	◎			○	○	◎
人間の尊厳と平等Ⅰ B231-261-01	本授業では、これまでに人間社会が形成してきた人権について、様々な歴史的事例や条文などの学びを通して、人権の基礎を習得する。	人権の成立過程や現代における課題を学び、一人一人の人間性を尊重し、他者と協調できるようになる。また、差別について批判的精神を養う。	◎	○	◎	○		○	○	○
人間の尊厳と平等Ⅱ B231-261-02	本授業では、社会福祉の成立過程を学びながら、「福祉国家」や「社会福祉事業」への理解を深め、社会福祉の基礎を習得する。	社会福祉の学びを通して、一人一人の人間性を尊重し、多様な価値観を理解できるようになる。そして、自ら社会貢献が積極的になることを目指す。	○	◎	◎	○		○	○	○
日本の文化と社会Ⅰ B231-162-01	日本の歴史・文学・ことばを中心に、人々がそれらの事象とどのように関わってきたのか、どのような変化をとげてきたのか、を学ぶ。	科学的な探究の精神に基づいて、日本における、社会と文化と人間に対する理解を深め、複眼の視座を涵養する。		◎		△	○	○	◎	
日本の文化と社会Ⅱ B231-162-02	日本の歴史・文学・ことばを中心に、人々がそれらの事象とどのように関わってきたのか、どのような変化をとげてきたのか、を学ぶ。	科学的な探究の精神に基づいて、日本における、社会と文化と人間に対する理解を深め、複眼の視座を涵養する。		◎		△	○	○	◎	

教養教育科目 カリキュラムマップ										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3				
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成				
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5
			高い倫理 性と豊かな 人間性の 涵養	多様な 文化と 価値観 の理解	他者と の協調 性	情報収 集力を 培う	言語表 現力を 培う	課題発 見力を 養う	論理的 思考力 を養う	問題解 決力を 養う
アジアの文化と社会Ⅰ B231-163-01	文献資料や映像資料を駆使して、中国の芸能・小説などの伝統文化、及び近現代の政治・社会史に関する講義を行う。また定期試験などを通して受講生に論述の機会を設けている。	日本人にとって「他者」である中国を多面的に理解することを目指す。その上で、筋道を立てた論述能力や課題発見力、問題解決力を涵養することを目指す。	○	◎	△	○	○	◎	○	○
アジアの文化と社会Ⅱ B231-163-02	文献資料や映像資料を駆使して、中国の芸能・小説などの伝統文化、及び近現代の政治・社会史に関する講義を行う。また定期試験などを通して受講生に論述の機会を設けている。	日本人にとって「他者」である中国を多面的に理解することを目指す。その上で、筋道を立てた論述能力や課題発見力、問題解決力を涵養することを目指す。	○	◎	△	○	○	◎	○	○
ヨーロッパの文化と社会Ⅰ B231-165-01	ヨーロッパの思想・文化の理解	ヨーロッパ諸国の事例を学習することで、未来の日本社会構築の参考にする。	○	◎		○		◎	○	○
ヨーロッパの文化と社会Ⅱ B231-165-02	ヨーロッパの思想・文化の理解	ヨーロッパ諸国の事例を学習することで、未来の日本社会構築の参考にする。	○	◎		○		◎	○	○
英語圏の文化と社会Ⅰ B231-804-01	英語圏の文化的な側面と社会的な側面について講義	英語圏の文化や英語の使用における社会的な背景について理解できる		◎			◎			
英語圏の文化と社会Ⅱ B231-804-02	英語圏の文化的な側面と社会的な側面について講義	英語圏の文化や英語の使用における社会的な背景について理解して説明できる		◎			◎			
人間と環境Ⅰ B231-646-01	社会・地球・自然・食など様々な角度から人間と環境の関わりについて学んでゆきます。	人間をとりまく種々の環境についての正しい知識を学び、玉石混淆の情報から正しい情報を読み解く力を身につけることができる。		○		○		◎	○	◎
人間と環境Ⅱ B231-646-02	社会・地球・自然・食など様々な角度から人間と環境の関わりについて学んでゆきます。	人間をとりまく種々の環境についての正しい知識を学び、玉石混淆の情報から正しい情報を読み解く力を身につけることができる。		○		○		◎	○	◎
情報と社会Ⅰ B231-622-01	ネットワーク社会における情報の扱い方と倫理的問題点を習得する。	ネットワーク社会における情報の扱い方と倫理的問題点の習得を到達目標とする。		○		◎		○	○	◎
情報と社会Ⅱ B231-622-02	ネットワーク社会におけるより進んだ情報の扱い方と倫理的問題点を習得する。	ネットワーク社会におけるより進んだ情報の扱い方と倫理的問題点の習得を到達目標とする。		○		◎		○	○	◎
産業と科学Ⅰ B231-118-01	生活に関連した産業と科学技術に関する話題を、複数の視点から多角的に分析し、解説する。	産業と科学技術に関する知識を学び、それを生かして生活における諸問題に対処できるような柔軟な思考力を身につける。				○		○	◎	◎
産業と科学Ⅱ B231-118-02	生活に関連した産業と科学技術に関する話題を、複数の視点から多角的に分析し、解説する。	産業と科学技術に関する知識を学び、それを生かして生活における諸問題に対処できるような柔軟な思考力を身につける。				○		○	◎	◎
ソフトウェア概論Ⅰ B231-605-01	コンピュータ・プログラミングの課題を解くことを通して、コンピュータの多様な使い方を習得する。	コンピュータ・プログラミングとコンピュータの多様な使い方の習得を到達目標とする。						○	◎	◎
ソフトウェア概論Ⅱ B231-605-02	コンピュータ・プログラミングの課題を解くことを通して、より進んだコンピュータの多様な使い方を習得する。	より進んだコンピュータ・プログラミングとコンピュータの多様な使い方の習得を到達目標とする。						○	◎	◎
健康の科学 B231-594-01	健康や病気を理解するための基礎知識、とくに生活習慣との関わりや疾病予防の重要性について解説する。	健康的な生活を送るための基礎知識を身につけ、日常生活の中で実践できるようになることを目的とする。			△	△		○	○	◎
英語Ⅰa B114-141-01	英語のリスニングと英会話を中心とした授業	基礎的な英語表現の聞き取りと基礎的な会話表現ができる		○	○		◎			○
英語Ⅱa B114-141-02	英語のリスニングと英会話を中心とした授業	少し発展的な英語表現の聞き取りと会話表現ができる		○	○		◎			○
英語Ⅰb B114-141-03	英語の読解を中心とした総合演習	基礎的な英文を読んで内容が理解できる		○		○	◎		○	
英語Ⅱb B114-141-04	英語の読解を中心とした総合演習	少し発展的な英文を読んで内容が理解できる		○		○	◎		○	

教養教育科目 カリキュラムマップ

授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理 性と豊かな 人間性の 涵養	多様な 文化と 価値観 の理解	他者と の協調 性	情報収 集力を 培う	言語表 現力を 培う	課題発 見力を 養う	論理的 思考力 を養う	問題解 決力を 養う	自己表 現力を 養う
英語Ⅰc B214-141-05	英作文・英文法を中心とした総合英語	基礎的な英文を書いて自己表現ができる		○			◎		○		○
英語Ⅱc B214-141-06	英作文・英文法を中心とした総合英語	少し発展的な英文を書いて自己表現ができる		○			◎		○		○
ドイツ語Ⅰ B114-145-01	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅱ B114-145-02	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解		◎			◎		○		○
中国語Ⅰ B114-147-01	発音の習得から始めて、入門時に必要とされる常用単語及び初歩的な文型を学び、未習外国語である中国語の学習の基礎を固める。常に双方向の授業を心がけ、中国語運用能力の基礎を作る。	中国語の発音を習得し、中国語のローマ字表記を読めるようにする。併せて、初歩的な常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な中国語を使えるようにする。		◎			◎		○		○
中国語Ⅱ B114-147-02	中国語Ⅰで学んだ中国語の基礎の上にさらにステップアップを目指す。発音の習熟度をより高め、語彙及び理解でき、かつ使用できる文型を増やすことによって、中国語の運用能力を高める。	中国語の発音をより確実なものにし、より多くの常用語彙、重要文型を学び、中国語の構造に対する理解を深め、初歩的な中国語運用能力を身につけるようにする。		◎			◎		○		○
フランス語Ⅰ B114-146-01	綴りと音の関係を理解し、フランス語文の音読を可能にする。基本文型を暗記し、フランス語のリズムを覚える。	フランス語文を単独で音読できるようにし、挨拶や買い物などの簡単な日常会話に慣れる。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅱ B114-146-02	人称の概念を理解し、基本動詞の活用を学習する。辞書を利用して平易なフランス語文を訳読し、暗記する。	会話文や説明文を、辞書を用いて単独で読解する。人物の会話から、フランス人の基本となる物の考え方を理解する。		◎		○	◎		○		○
韓国語Ⅰ B114-148-01	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、それを通じて朝鮮半島の歴史、社会、文化、思想について理解を深め、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。		◎		○	◎		○		○
韓国語Ⅱ B114-148-02	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、それを通じて朝鮮半島の歴史、社会、文化、思想について理解を深め、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。		◎		○	◎		○		○
ドイツ文化事情 B124-145-61	ドイツ語圏の国々の思想・文化・社会の探究	「ドイツ」から今後の日本社会に優位な考え方を学ぶ		◎		○		○			
中国文化事情 B124-147-61	映像等を用い、中国の歴史、地理、社会等各方面から、中国語の背後にある中国文化の様々な側面を学び、多様な文化に対する理解を深める。	中国の社会や伝統文化に対する知識を増やし、より広い視野を持って、多様な文化、価値観が理解できるようなることを目指す。		◎		○		○			
フランス文化事情 B124-146-61	フランス人の物の考え方や、習慣、歴史、社会制度などを習得する。異文化理解が単一民族の日本人には重要であることを認識する。	個人の自由を重んじるフランス人の国民性を理解し、それが日常生活や社会制度の中で、どのように機能しているかを考察を深める。		◎		○		◎	○	○	
韓国文化事情 B124-148-61	様々な文献・視聴覚資料を活用し、韓国・朝鮮の文化・社会・歴史などについて学ぶ。単なる知識の伝達ではなく、日本との比較などや、様々な観点からの観察・分析、「韓国文化」の全般について正しく理解していく。	日常の様々な事柄について客観的な立場から観察・分析力を身につけることができる。また、日韓の文化比較を行い様々な意見や情報交換によって、自分の意見を表明する積極性と論理性を高めることができる。		◎	○	○	○		◎		○
日本語Ⅰa B114-139-01	高度な文法力や読解力を身につけることを目的に論理的な文章を読む。	論理的な文章が読めるようになる。また、教材を通して日本社会への理解を深めることができる。					◎		◎		○
日本語Ⅱa B114-139-02	読解力を向上させるために、論理的な文章だけでなく、エッセイなども取り上げて読む。	様々なタイプの文章を、一人で読めるようになる。また、内容に関して意見や感想をまとめることができる。					◎		◎		○

教養教育科目 カリキュラムマップ										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3				
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成				
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5
			高い倫理 性と豊かな 人間性の 涵養	多様な 文化と 価値観 の理解	他者との 協調性	情報収 集力を 培う	言語表 現力を 培う	課題発 見力を 養う	論理的 思考力 を養う	問題解 決力を 養う
日本語Ⅰb B114-139-03	日本語の聴解、会話、口頭発表を扱う。	留学生活に必要な聴解力・会話を身につけ、わかりやすい発表ができるようになる。				○	◎		○	◎
日本語Ⅱb B114-139-04	日本語の聴解、会話、口頭発表を扱う。	日本社会で起きている話題について聴き取れ、資料を基に論理的に意見が述べられるようになる。				○	◎		○	◎
日本語Ⅰc B114-139-05	論理的な文章をわかりやすく書くための基礎的な技法を学ぶ。	事実と自分の考えとを書き分ける力、資料に基づいて自分の考えを書き進める力などを身につけることができる。					◎		○	○ ◎
日本語Ⅱc B114-139-06	関心のあるテーマについて問題を見出し、資料を用いてその答えをレポートとしてまとめる。	レポートを書くことを通して、読み・書きの高度な日本語力を身につけることができる。				○	◎	○	◎	○ ○
日本語Ⅰd B214-139-07	意見文を読み、自分の意見を述べたり、内容を要約したりする。	社会で問題になっている様々な問題について、自分の考えをわかりやすく述べるができる。		○			◎		○	◎
日本語Ⅱd B214-139-08	ディベートやスピーチ学習などを通して、まとまりのある内容を的確に伝える方法を学ぶ。	自分の考えをわかりやすく伝えることができる。		○	○	○	◎	○	○	○ ◎
日本語Ⅰe B214-139-09	「食」をメインテーマに課題を設定し、資料を集め、まとめて発表する。	高度な日本語力およびプレゼンテーション能力を身につけることができる。		○		○	◎	◎	○	○ ○
日本語Ⅱe B214-139-10	日本の文化や社会に関するテーマについて、課題を設定し、調べて発表する。	高度な日本語力およびプレゼンテーション能力を身につけることができる。		○		○	◎	◎	○	○ ○
英会話Ⅰ B134-141-11	外国人教員による英会話演習	簡単な英会話で自己表現ができる		○	○		◎			○
英会話Ⅱ B134-141-12	外国人教員による英会話演習	少し発展的な内容の英会話で自己表現ができる		○	○		◎			○
英会話Ⅲ B234-141-21	外国人教員による発展的英会話演習	日常的な内容の英会話で自己表現ができる		○	○		◎		○	○
英会話Ⅳ B234-141-22	外国人教員による発展的英会話演習	発展的な様々な内容の英会話で自己表現ができる		○	○		◎		○	○
メディア英語Ⅰ B134-141-17	ビデオや映画等のメディアを使った英語演習	映画やニュースなどで基本的な表現が理解できる		○			◎		○	
メディア英語Ⅱ B134-141-18	ビデオや映画等のメディアを使った英語演習	映画やニュースなどで少し発展的な表現が理解できる		○			◎		○	
メディア英語Ⅲ B234-141-27	ビデオや映画等のメディアを使った発展的英語演習	映画やニュースなどで多くの表現をそのまま理解できる		○			◎		○	
メディア英語Ⅳ B234-141-28	ビデオや映画等のメディアを使った発展的英語演習	映画やニュースなどで発展的な内容がそのまま理解できる		○			◎		○	
英語表現法Ⅰ B134-141-15	英作文や会話などの英語による自己表現演習	基礎的な英語を使って自己表現ができる		○			◎		○	○
英語表現法Ⅱ B134-141-16	英作文や会話などの英語による自己表現演習	少し発展的な英語を使って自己表現ができる		○			◎		○	○
英語表現法Ⅲ B234-141-25	英作文や会話などの英語による発展的自己表現演習	英語表現を使って自分の意見や考えを表現できる		○			◎		○	○
英語表現法Ⅳ B234-141-26	英作文や会話などの英語による発展的自己表現演習	少し発展的な英語表現を使って自分の意見や考えを表現できる		○			◎		○	○
英語読解法Ⅰ B134-141-13	様々な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、自分で様々な英文の内容が理解できる		○		○	◎		○	
英語読解法Ⅱ B134-141-14	様々な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、自分で少し発展的な英文の内容が理解できる		○		○	◎		○	
英語読解法Ⅲ B234-141-23	発展的な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、様々な英文の内容が理解できる		○		○	◎		○	

教養教育科目 カリキュラムマップ										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3				
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成				
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5
			高い倫理 性と豊かな 人間性の 涵養	多様な 文化と 価値観 の理解	他者と の協調 性	情報収 集力を 培う	言語表 現力を 培う	課題発 見力を 養う	論理的 思考力 を養う	問題解 決力を 養う
英語読解法Ⅳ B234-141-24	発展的な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、様々な発展的な英文の内容が理解できる		○		○	◎		○	
実践英語Ⅰ B134-141-31	TOEIC等の検定試験対策の演習	TOEIC等の検定試験で基礎的な問題の解答ができる					◎		○	
実践英語Ⅱ B134-141-32	TOEIC等の検定試験対策の演習	TOEIC等の検定試験で少し発展的な問題の解答ができる					◎		○	
実践英語Ⅲ B234-141-41	TOEIC等の検定試験対策の発展的演習	TOEIC等の検定試験で発展的な問題の解答ができる					◎		○	
実践英語Ⅳ B234-141-42	TOEIC等の検定試験対策の発展的演習	TOEIC等の検定試験で少し高度な問題の解答ができる					◎		○	
ドイツ語Ⅰ（基礎） B134-145-11	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解		◎			◎		○	○
ドイツ語Ⅱ（基礎） B134-145-12	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解		◎			◎		○	○
ドイツ語Ⅲ（読解） B234-145-21	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の読解力強化		◎			◎		○	○
ドイツ語Ⅳ（読解） B234-145-22	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の読解力強化		◎			◎		○	○
ドイツ語Ⅲ（表現） B234-145-31	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の表現力（作文力）強化		◎			◎		○	○
ドイツ語Ⅳ（表現） B234-145-32	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の表現力（作文力）強化		◎			◎		○	○
ドイツ語Ⅲ（総合） B234-145-41	中級ドイツ語能力養成	中級のテキストを用いたドイツ語の運用能力強化		◎			◎		○	○
ドイツ語Ⅳ（総合） B234-145-42	中級ドイツ語能力養成	中級のテキストを用いたドイツ語の運用能力強化		◎			◎		○	○
ドイツ語会話Ⅰ B234-145-51	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の会話能力の養成		◎	○		◎		○	○
ドイツ語会話Ⅱ B234-145-52	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の会話能力の養成		◎	○		◎		○	○
中国語Ⅰ（基礎） B134-147-11	発音の習得から始めて、入門時に必要とされる常用単語及び初歩的な文型を学び、未習外国語である中国語の学習の基礎を固める。常に双方向の授業を心がけ、中国語運用能力の基礎を作る。	中国語の発音を習得し、中国語のローマ字表記を読めるようにする。併せて、初歩的な常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な中国語を使えるようにする。		◎			◎		○	○
中国語Ⅱ（基礎） B134-147-12	中国語Ⅰで学んだ中国語の基礎の上にさらにステップアップを目指す。発音の習熟度をより高め、語彙及び理解でき、かつ使用できる文型を増やすことによって、中国語の運用能力を高める。	中国語の発音をより確実なものにし、より多くの常用語彙、重要文型を学び、中国語の構造に対する理解を深め、初歩的な中国語運用能力を身につけるようにする。		◎			◎		○	○
中国語Ⅲ（読解） B234-147-21	1年次に習得した中国語を基礎に、簡単な文章を読むことによって中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の読解力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の文章の読解力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK2級の合格を目指す。		◎			◎		○	○
中国語Ⅳ（読解） B234-147-22	中国語Ⅲ（読解）を受けて、様々な文章を読むことによって、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の読解力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の文章の読解力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK3級の合格を目指す。		◎			◎		○	○
中国語Ⅲ（表現） B234-147-31	1年次に習得した中国語を基礎に、中国語の様々な表現を学んで中国語作文の練習をすることによって、中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の表現力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の表現力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK2級の合格を目指す。		◎			◎		○	○

教養教育科目 カリキュラムマップ										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3				
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成				
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5
			高い倫理 性と豊かな 人間性の 涵養	多様な 文化と 価値観 の理解	他者と の協調 性	情報収 集力を 培う	言語表 現力を 培う	課題発 見力を 養う	論理的 思考力 を養う	問題解 決力を 養う
中国語Ⅳ（表現） B234-147-32	中国語Ⅲ（読解）を受けて、中国語の様々な表現を学んで中国語作文の練習をすることによって、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の表現力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の表現力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 3級の合格を目指す。		◎			◎		○	○
中国語Ⅲ（総合） B234-147-41	1年次に習得した中国語を基礎に、「読み、書き、聴き、話す」練習を通して、常用語を身につけ、中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の運用能力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、「読み、書き、聴き、話す」といった中国語の運用能力を全体的に高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 2級の合格を目指す。		◎			◎		○	○
中国語Ⅳ（総合） B234-147-42	中国語Ⅲ（総合）を受けて、「読み、書き、聴き、話す」練習を通して、使える常用語を増やし、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の運用能力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、「読み、書き、聴き、話す」といった中国語の運用能力を全体的に高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 3級の合格を目指す。		◎			◎		○	○
中国語会話Ⅰ B234-147-51	発音の練習を重視し、ペアワークによる会話練習を行い、中国語の会話力を向上させる。併せて、作文と翻訳の練習も行い、中国語の総合的な運用能力を高める。	1年次で学んだ中国語の発音をより正確なものにし、あいさつなどの簡単な言葉から日常用いる初歩的な会話ができるようにする。中国政府公認の中国語検定試験HSK 2級の合格を目指す。		◎			◎		○	○
中国語会話Ⅱ B234-147-52	中国語会話Ⅰを受け、引き続き発音練習を重視し、ペアワークによる会話をほぼ毎回行って、会話力をより向上させる。併せて作文と翻訳の練習にも力を入れ、中国語の総合的な運用能力を高める。	中国語をより正確に発音できるようにし、より多くのことを表現できるよう会話力を高める。会話力と同時に、作文能力や読解力も向上させ、中国政府公認の中国語検定試験HSK 3級の合格を目指す。		◎			◎		○	○
フランス語Ⅰ（基礎） B134-146-11	綴りと音の関係を理解し、フランス語文の音読を可能にする。基本文型を暗記し、フランス語のリズムを覚える。	フランス語文を単独で音読できるようにし、挨拶や買い物などの簡単な日常会話に慣れる。		◎		○	◎		○	○
フランス語Ⅱ（基礎） B134-146-12	人称の概念を理解し、基本動詞の活用を学習する。辞書を利用して平易なフランス語文を訳読し、暗記する。	会話文や説明文を、辞書を用いて単独で読解する。人物の会話から、フランス人の基本となる物の考え方を理解する。		◎		○	◎		○	○
フランス語Ⅲ（読解） B234-146-21	フランス語の会話文や比較的読みやすい文学作品の文章を訳読し、その中の基本的な表現を暗記する。	テキストの各章のテーマにそって、登場人物による会話の機微を捉える。フランス語独特の言い回しに注意を払う。		◎		○	◎		○	○
フランス語Ⅳ（読解） B234-146-22	会話文の中で描かれる日常生活のユーモアを読み解く。人生の指針となるような文章は、暗記して覚える。	会話文の登場人物になったつもりで、情感をこめて文章を音読する。共感を覚えた表現は、反復して忘れないようにする。		◎		○	◎		○	○
フランス語Ⅲ（表現） B234-146-31	フランス語の会話文を読みながら、その口語表現が持っている微妙なニュアンスを読み取る。使用頻度の高い文は暗記する。	フランス語の会話文の中にちりばめられている、エスプリの効いた表現を覚え、自分の人生に当てはめてみる。		◎		○	◎		○	○
フランス語Ⅳ（表現） B234-146-32	フランス語の文学作品が描きだす人間感情の機微を読み取るようにする。感動した文は、暗記して心に留める。	文学作品の中に出てくる、感動的で重要な意味合いの文を、何度も反復しながら味読する。		◎		○	◎		○	○
フランス語Ⅲ（総合） B234-146-41	短文の反復や言い換えにより、実生活に結びついたフランス語の表現を確実に身につける。	フランスで生活するつもりになって、フランス語でフランス人に意志を伝えるつもりで、フランス語会話に集中する。		◎		○	◎		○	○
フランス語Ⅳ（総合） B234-146-42	練習問題による言い換えにより、実生活に結びついたフランス語の構造を確実に身につける。	フランス語の基本的な例文を覚えると同時に、日本語からフランス語への言い換えも行えるようにする。		◎		○	◎		○	○
フランス語会話Ⅰ B234-146-51	フランス語の発音の仕方、身振り、手振りなどの動作、顔の表情などを、フランス人自身から直に学ぶ。	フランス人の発音、表情、動作などを、素直に反復することから始めて、外国人と対話する楽しみを知る。		◎		○	◎		○	○

教養教育科目 カリキュラムマップ

授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理 性と豊かな 人間性の 涵養	多様な 文化と 価値観 の理解	他者と の協調 性	情報収 集力を 培う	言語表 現力を 培う	課題発 見力を 養う	論理的 思考力 を養う	問題解 決力を 養う	自己表 現力を 養う
フランス語会話Ⅱ B234-146-52	テキストの意味を理解するだけでなく、片言の語彙であっても、自分からフランス語を口に出して言ってみる。	進んで教師にフランス語で話しかけるようにする。文法を気にするよりも、身振りや表情を交えてコミュニケーションを取る。		◎		○	◎		○		○
韓国語Ⅰ（基礎） B134-148-11	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅱ（基礎） B134-148-12	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅲ（読解） B234-148-21	韓国語Ⅰ・Ⅱを履修した人を対象にし、レベルアップした基礎文法を学ぶ。コミュニケーションの訓練とともに、文法と構文の理解、表現力を身につける。また、旅行やビジネス場面でよく使われる表現を学ぶ。	韓国語の基礎文法を踏まえ、より豊かな基礎会話力を養うことを目標にする。徐々に語彙・文法項目を増やしていき、韓国語で書かれた文章に対する理解力を高める。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅳ（読解） B234-148-22	韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修した人を対象にし、中級を目指して実践的な表現を学ぶ。定型表現の学習は、ものの描写、要求・依頼・主張など様々な場面にふさわしい構文と語彙を習得し、言語運用力を養う。	中級レベルの文法や語彙を学び、韓国語としてより自然で円滑なコミュニケーションができるようにする。より豊かな言語表現力を養い、韓国語文章に対する「読む・書く」能力の上達を目標にする。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅲ（表現） B234-148-31	文字を覚えた学生を対象にし、授業計画に基づく韓国語の基礎知識と運用力を養成する。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身につけることを目指す。韓国語圏の世界の諸相を理解し、国際的な視野を広める。	韓国語の文字と発音を習った学生を対象とし、基本文の作り方を練習する。そのために、基本文法と単語の学習を充実に行う。これに基づいて、実際の現場で使われる多様な文の構造及び会話表現の習得を目標とする。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅳ（表現） B234-148-32	韓国語の文字を覚えた学生を対象にし、授業計画に基づく韓国語の基礎知識と運用力を養成する。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身につけることを目指す。韓国語圏の世界の諸相を理解し、国際的な視野を広める。	韓国語の文字と発音を習った学生を対象とし、基礎的な文の作り方を練習する。そのために、基本文法と基礎単語の学習を充実に行う。実際の現場で使われる多様な文の構造及び会話表現の習得を目標とする。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅲ（総合） B234-148-41	韓国語Ⅰ・Ⅱを履修した学生を対象にし、ハングル検定試験5級に合格するために必要な発音の仕組み、基本文法などを学習していく。文法事項や語句、日常会話文等を繰り返し練習し、ハングル検定試験5級合格に必要な基本的な能力を身につける。	基本文法については韓国語Ⅰ・Ⅱで学習した復習から始め、ハングル検定試験5級合格のために必要な発音と文法を学び、自ら学習できるようにする。基本文法と語句、日常会話文などの反復学習を通して習得していく。また練習問題と課題を通して、その定着と更なる応用発展を図る。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅳ（総合） B234-148-42	ハングル検定試験5級に合格するため、基本文法、語句、日常会話文などを学習する。また11月に実施されるハングル検定試験に向けて実際の過去問を用いて練習する。適宜、試験に必要な発音や文法、語彙に関する解説を行う。	ハングル検定試験5級に合格する、あるいは5級に挑戦できる能力を身につけることを目標とする。すでに5級を取得した学生にとっても、次のステップアップにつながる足場を固める場となることを目標とする。		◎	○		◎		○		○
韓国語会話Ⅰ B234-148-51	韓国語の読み書きができ、文章の作成が出来るレベルに達していても、会話が出来るとは限らない。ペアワークやグループワークを多く取り入れ、学んだ表現を使った会話文を用いて実際に話してみることで、積極的に話す機会を与える。	ハングルの読み書きが確実にできるようにする。 基礎的な文法を身につけ、あいさつ、自己紹介、身の回りのことについて自分の言いたいことを伝え、相手とコミュニケーションが取れるようにする。		◎	○		◎		○		○

教養教育科目 カリキュラムマップ

授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理 性と豊かな 人間性の 涵養	多様な 文化と 価値観 の理解	他者と の協調 性	情報収 集力を 培う	言語表 現力を 培う	課題発 見力を 養う	論理的 思考力 を養う	問題解 決力を 養う	自己表 現力を 養う
韓国語会話Ⅱ B234-148-52	韓国語の読み書きができ、文章の作成が出来るレベルに達していても、会話ができるとは限らない。ペアワークやグループワークを多く取り入れ、学んだ表現を使った会話文を用いて実際に話してみることで、積極的に話す機会を与える。	約700個の単語をもとに、初級レベルに必要な会話のスキルを身につけるようにする。その上で日本語とは異なる韓国語特有の会話の仕方を学習し、その背景にある文化についても考察できるようにする。		◎	○		◎		○		○
スペイン語Ⅰ（基礎） B134-149-11	初めて学ぶ人を対象にグローバル言語の1つであるスペイン語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。スペイン語の常用単語及び初歩的な文型を学び日常生活で使える簡単な会話を学習する。	スペイン語の常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な日常会話を使えるようにする。		◎	○		◎		○		○
スペイン語Ⅱ（基礎） B134-149-12	スペイン語Ⅰ（基礎）で学んだスペイン語のさらなるステップアップを目指す。単語の理解や発音の習熟度をより高め、かつ使用できる文型を増やすことによって、スペイン語の運用能力を高める。	スペイン語の発音をより確実なものにし、多くの常用単語、重要文型を学び、初歩的なスペイン語運用能力を身につける。		◎	○		◎		○		○
スポーツ科学Ⅰ B115-592-01	運動の実践により、生涯健康の基礎作りを目指す。運動の楽しさや健康の価値・意味を理解し自己管理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精神的、社会的な健康を獲得する。学生同士の協調性や連帯感を理解させ、豊かな人間性を高めていく。	○	○	○	○	△	△	△	◎	◎
スポーツ科学Ⅱ B115-592-02	運動の実践により、生涯健康の基礎作りを目指す。運動の楽しさや健康の価値・意味を理解し自己管理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精神的、社会的な健康を獲得する。学生同士の協調性や連帯感を理解させ、豊かな人間性を高めていく。	○	○	○	○	△	△	△	◎	◎
スポーツ科学Ⅲ B235-592-03	生涯健康の応用と発展を目的とする。運動習慣の継続と生涯健康スキルを発展させる。	趣向や目的に適した種目を選択し、個人能力に応じたレベルでスポーツ実践する。「生涯健康の理論と実践の統合」を目標とする。	○	○	○	○	△	△	△	◎	◎
スポーツ科学Ⅳ B235-592-04	生涯健康の応用と発展を目的とする。運動習慣の継続と生涯健康スキルを発展させる。	趣向や目的に適した種目を選択し、個人能力に応じたレベルでスポーツ実践する。「生涯健康の理論と実践の統合」を目標とする。	○	○	○	○	△	△	△	◎	◎
海外事情Ⅰ B139-852-01	カナダ、オーストラリア、イギリス、アイルランド、台湾の各国の提携校でホームステイ先や学生宿舎に滞在しながら、語学力を磨いたり現地の文化を経験したりする。	渡航先の大学で開講される授業やプログラムを通して、語学力を向上させる。幅広く異文化に触れることで、多様な価値観や考え方を理解できるようになる。	◎	◎	◎	○	◎	△	△	△	◎
海外事情Ⅱ B139-852-02	カナダ、オーストラリア、イギリス、アイルランド、台湾の各国の提携校でホームステイ先や学生宿舎に滞在しながら、語学力を磨いたり現地の文化を経験したりする。	渡航先の大学で開講される授業やプログラムを通して、語学力を向上させる。幅広く異文化に触れることで、多様な価値観や考え方を理解できるようになる。	◎	◎	◎	○	◎	△	△	△	◎
海外事情Ⅲ B139-852-03	マレーシア、台湾、韓国の提携校で実施されるワークショップや文化交流に参加し、提携校の学生や各国の留学生と協力して共通の課題に向き合うことで、グローバル社会に役立つコミュニケーションと多文化共生に対する理解を深める。	研修先の学生や教員との交流を深めることで、現地の事情や文化への理解を深めることができる。研修先での国際経験を通じて、グローバル社会で活躍できる人材となる基礎を身につける。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
海外事情Ⅳ B139-852-04	マレーシア、台湾、韓国の提携校で実施されるワークショップや文化交流に参加し、提携校の学生や各国の留学生と協力して共通の課題に向き合うことで、グローバル社会に役立つコミュニケーションと多文化共生に対する理解を深める。	研修先の学生や教員との交流を深めることで、現地の事情や文化への理解を深めることができる。研修先での国際経験を通じて、グローバル社会で活躍できる人材となる基礎を身につける。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎・・・教育目標達成のために、特に重要な事項

○・・・教育目標達成のために、重要な事項

△・・・教育目標達成のために、望ましい事項

法律学科 カリキュラムマップ

法律学科は、「法律学科 カリキュラム・ポリシー」（P.46参照）に則り、法律学の体系的知識を踏まえた法的判断能力の育成を目標とする専門科目、キャリア・デザイン支援を目的とするキャリア教育科目を設置し、さらに少人数の演習科目を各学年に配置することにより1人1人に行き届いた教育を実践します。これらにより大学の建学の精神である「行学一体・報恩感謝」に基づき、豊かな人間性を涵養することを目指します。															
法学部法律学科 カリキュラムマップ			法学部法律学科のディプロマポリシー（DP）												
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	J-DP1		J-DP2	J-DP3				J-DP4			J-DP5		
			汎用的知識		専門的知識	汎用的能力				専門的能力 （法的判断能力）			豊かな人間性		
			J-DP1-1	J-DP1-2	J-DP2	J-DP3-1	J-DP3-2	J-DP3-3	J-DP3-4	J-DP4-1	J-DP4-2	J-DP4-3	J-DP5-1	J-DP5-2	
			社会に関する知識の理解	多様な文化に関する知識の理解	法律学の体系的知識の理解	自己管理能力の修得	コミュニケーション能力の修得	チームワーク能力の修得	文章作成能力の修得	事実を客観的に把握する能力の修得	体系的・論理的に思考する能力の修得	物事を公正に判断する能力の修得	「公正」「正義」に代表される法の精神の理解	市民としての社会的責任の自覚	
法学 J131-211-01	法学を学ぶうえで一般的に知っておくべき基本的な知識・情報を学ぶ。	法学の基礎的・一般的知識や原理を理解する。司法制度や裁判のしくみの概略を知る。	◎	○	○				○	○	◎	○	◎	○	
刑法Ⅰ（総論）A J131-215-01	個々の犯罪と刑罰に共通する一般的性質について学ぶ。	刑事手続の概要、刑罰の意義・種類、刑法の基本原則、犯罪論体系等についての基礎知識を修得する。	○	△	◎					○	○	◎	◎	◎	△
民法入門 J131-216-01	六法の使い方、私法の位置づけと民法の基本原則、民法89条まで。	民法の性格と、学習範囲内の基礎的概念を、理解し説明できるようになる。	○		◎	◎				○	○	◎	◎	◎	◎
憲法入門 J131-212-01	主権、人権保障、権力分立、平和主義についての概要を学ぶ。	憲法の基礎を理解し、憲法問題について自分で考えられるようになる。	○		◎						○	○	○	○	△
憲法Ⅰ（統治） J131-212-02	国会、内閣、裁判所の権限やそれぞれの関係について学ぶ。	統治に関わる問題について、批判的に読み解くことができるようになる。	○		◎						○	◎	○	○	○
行政法Ⅰ（総論）A J231-212-03	行政法の全体像および行政法総論の基礎知識を学ぶ。	行政法の基本原理や独自のしくみを理解し、論理的文章で説明できる。	◎		◎					○	○	◎	○	○	○
刑法Ⅰ（総論）B J131-215-02	個々の犯罪と刑罰に共通する一般的性質について学ぶ。	構成要件該当性、違法性、責任、未遂犯、共犯等についての基礎知識を修得する。	○	△	◎					○	○	◎	◎	◎	△
刑法Ⅱ（各論）A J231-215-03	刑法典各則に規定されている個々の犯罪の特徴および固有の成立要件について学ぶ。	個人的法益（生命、身体、自由等）に対する罪についての基礎知識を修得する。	○		◎					○	○	◎	◎	◎	
刑法Ⅱ（各論）B J231-215-04	刑法典各則に規定されている個々の犯罪の特徴および固有の成立要件について学ぶ。	個人的法益（財産）に対する罪、社会的法益に対する罪、国家的法益に対する罪についての基礎知識を修得する。	○		◎					○	○	◎	◎	◎	
民法Ⅰ（総則） J131-216-02	民法第1編総則のうち、法律行為および時効（90条から174条の2）の解説。	学説および判例等の基礎的な知識を理解し、それを説明できるようになる。	○	○	◎	△				○	◎	◎	◎	◎	◎
民法Ⅱ（物権） J131-216-03	民法第2編物権、特に所有権・用益物権および物権変動法制。	物権法制の基礎知識を修得することができる。	○		◎	○				○	○	◎	◎	○	○
民法Ⅲ（債権総論） J231-216-04	債権総論の基礎を学ぶ。	規定の内容・関連する判例・学説等につき基礎知識を得、例を踏まえて概略を説明できる。	○		◎					△	○	◎	◎	◎	○
民法Ⅳ（契約） J231-216-05	契約法の基礎を学ぶ。	規定の内容・関連する判例・学説等につき基礎知識を得、例を踏まえて概略を説明できる。	○		◎					△	○	◎	◎	◎	○

法学部法律学科 カリキュラムマップ			法学部法律学科のディプロマポリシー (DP)												
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	J-DP1		J-DP2	J-DP3				J-DP4			J-DP5		
			汎用的知識		専門的 知識	汎用的能力				専門的能力 (法的判断能力)			豊かな人間性		
			J-DP1-1	J-DP1-2	J-DP2	J-DP3-1	J-DP3-2	J-DP3-3	J-DP3-4	J-DP4-1	J-DP4-2	J-DP4-3	J-DP5-1	J-DP5-2	
			社会に関 する知識 の理解	多様な文化に関す る知識の 理解	法学の 体系的知 識の理解	自己管理 力の修得	コミュニ ケーショ ン能力の 修得	チーム ワークカ の修得	文章作成 能力の修 得	事実を客 観的に把 握する能 力の修得	体系的・ 論理的に 思考する 能力の修 得	物事を公 正に判断 する能力 の修得	「公正」 「正義」に 代表され る法の精 神の理解	市民とし ての社会 的責任の 自覚	
民法Ⅵ (不法行為等) J231-216-07	不法行為法の基礎を学ぶ。	規定の内容・関連する判例・学説等につき基礎知識を得、例を踏まえて概略を説明できる。	○		◎					△	○	◎	◎	◎	○
民法Ⅶ(親族) J231-216-08	民法第4編親族とそれに関連する制度(規定のない制度含む)。	基本的な知識と判例が説明できたうえで自己の考えが持てる。	◎	◎	◎	◎				◎	○	◎	◎	◎	◎
会社法Ⅰ (機関A) J231-216-09	会社法のうち、株式会社の機関設計および各機関の役割を学ぶ(1)。	株式会社の意思決定・業務執行について、各機関の関係を意識して理解することができる(1)。	◎	△	◎					△	◎	◎	◎	◎	◎
会社法Ⅱ (機関B) J231-216-10	会社法のうち、株式会社の機関設計および各機関の役割を学ぶ(2)。	株式会社の意思決定・業務執行について、各機関の関係を意識して理解することができる(2)。	◎	△	◎					△	◎	◎	◎	◎	◎
民事訴訟法入門 J231-216-11	民事訴訟法の基礎概念や制度の概要を学び、民事訴訟手続の基礎を知り、手続全体を概括的に理解する。	社会人として民事紛争に対処するための基礎となる、民事訴訟制度の概要を理解する。民事実体法の理解に必要な民事手続法の基礎的知識を修得すると共に、民事手続法の諸科目を学ぶための基礎をつくる。	◎	△	◎						◎	◎	◎	◎	◎
国際法Ⅰ(総論)A J231-213-01	国際社会を規律する国際法の基礎的な知識を修得する。	国際法の基礎を理解し、国際問題について国際法の観点から評価できる。	◎	◎	○		△				◎	○	○	○	△
国際法Ⅰ(総論)B J231-213-02	人権、環境など、国際法のさまざまな分野の知識を修得する。	国際法の諸分野を理解し、国際問題について国際法の観点から評価できる。	◎	◎	○		△				◎	○	○	○	△
政治学原論 J231-222-01	政治についての、私たちのこころの習慣について考える。	目標は、日ごろの考え方が、政治とどう結びつくかを、知ること。	◎	○	△		◎			◎	○	◎	○	◎	◎
政治過程論 J231-222-02	自由民主主義体制下の政治過程について解説する。	政治の基本原理や制度、そこで展開する政治の動態を把握する。	◎	○	△		△			○	○	◎	○	△	○
法哲学A J331-211-02	法とは何かを原理的に考える。	法の構造を体系的に理解する。法原理を基に法的推論が展開できるようになる。	○	○	◎					○	○	◎	◎	○	○
法哲学B J331-211-03	法の根底にある正義とは何であるかを考える。	現代社会において生じる正義をめぐる問題を原理的に考えることができるようになる。	◎	○	○					○	○	○	◎	◎	◎
法制史A J331-211-04	時代区分や世界の法体系など、法制史の基礎を学ぶ。	法制史の基本概念を修得し、法を相対化して捉えることができるようになる。	◎	◎	○					△	◎	○	○	○	○
法制史B J331-211-05	日本法制史の各論を学ぶ。	日本固有の法の上に西洋法を継受して形成された近・現代の日本法をよりよく理解できるようになる。	◎	◎	○					△	◎	○	○	○	○
宗教法 J331-211-06	国家と宗教の関係を歴史的に辿りながら信教の自由の意義を学び、主な判例を検討する。	信教の自由の歴史的意義を理解し、国家と宗教の関係を法的に考察できるようになる。	◎	○	○					△	◎	○	○	◎	◎

法学部法律学科 カリキュラムマップ			法学部法律学科のディプロマポリシー (DP)											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	J-DP1		J-DP2	J-DP3				J-DP4			J-DP5	
			汎用的知識		専門的知識	汎用的能力				専門的能力 (法的判断能力)			豊かな人間性	
			J-DP1-1	J-DP1-2	J-DP2	J-DP3-1	J-DP3-2	J-DP3-3	J-DP3-4	J-DP4-1	J-DP4-2	J-DP4-3	J-DP5-1	J-DP5-2
			社会に関する知識の理解	多様な文化に関する知識の理解	法学の体系的知識の理解	自己管理能力の修得	コミュニケーション能力の修得	チームワーク力の修得	文章作成能力の修得	事実を客観的に把握する能力の修得	体系的・論理的に思考する能力の修得	物事を公正に判断する能力の修得	「公正」「正義」に代表される法の精神の理解	市民としての社会的責任の自覚
外国法A J331-211-07	アメリカ法制度の基本を学ぶ。	アメリカ法制度の全体構造について理解する。	○	◎	○				△	◎	○	○	◎	○
外国法B J331-211-08	アメリカの代表的な判例を検討する。	アメリカの代表的な判例を通じて、アメリカ法の原理やアメリカ社会の文化を理解する。	○	◎	○				△	◎	○	○	◎	○
憲法Ⅱ（人権）A J231-212-04	現代社会において生じている人権問題を考える。	人権問題の背景を理解し、論理的に考えられるようになる。	○	△	◎				○	○	◎	○	○	○
憲法Ⅱ（人権）B J231-212-05	現代社会において生じている人権問題を考える。	人権問題の背景を理解し、論理的に考えられるようになる。	○	△	◎				○	○	◎	○	○	○
行政法Ⅰ（総論）B J331-212-06	行政法総論の現代的課題に関する発展的知識を学ぶ。	行政活動に対する法的統制の現状を分析し、論理的文章で説明できる。	◎	△	◎				○	○	◎	◎	○	○
行政法Ⅱ（各論） J331-212-07	行政救済法などの行政法領域に関する発展的知識を学ぶ。	各領域における行政法理論の動向を分析し、論理的文章で説明できる。	◎		◎				○	◎	◎	◎	○	○
地方自治法 J331-212-08	地方自治の基本的な考え方、地方自治の法としくみについての基礎的知識を身につける。	地方自治とは何か、地方自治の法としくみはどのようなものか、などの点を体系的に理解し、論理的文章で説明できる。	◎		◎				○	○	◎	○	○	○
自治体法務 J331-212-11	より良い条例を立案・制定するための「政策法務」の基礎理論と実務の知識を学ぶ。	実践に役立つ、政策実現のための条例づくりの理論等を身につけ、実例に即して説明できる。	◎		◎				○	◎	◎	△	○	◎
刑事訴訟法A J331-215-05	判例を素材に、各種の捜査処分の適法性判断のあり方について検討する。	あらゆる捜査処分の適法性判断を行えるようになる。	○	△	◎		△		○	○	◎	◎	◎	
刑事訴訟法B J331-215-06	自白、伝聞証拠、違法収集証拠に関する判例法を検討する。	証拠法に関する体系的知識を修得する。	○	△	◎		△		○	○	◎	◎	◎	
少年法 J331-215-07	成人手続と比較しながら、少年法の理念と手続の特色を学ぶ。	少年手続の特色を理解し、今後のあり方について自分の意見を作る。	◎		△		△		○	◎	◎	◎	○	○
民法Ⅴ（担保物権） J331-216-06	民法第2編後半とその外で発達した担保物権に関する諸制度。	該当部分の条文と判例実務の機能が理解し説明できる。	◎	○	◎	◎			◎					
民法Ⅷ（相続） J331-216-13	民法第5編相続（相続人の範囲、相続財産等）の解説。	相続法の基礎に関する知識を得て、それを説明できるようになること。	○		◎	△			△	○	◎	◎	◎	○
会社法Ⅲ（設立・株式） J331-216-14	会社法のうち、設立、株式制度、株主の権利について学ぶ。	株式会社の設立手続き、株式制度および株主の権利行使について理解できる。	◎	△	◎				△	◎	◎	◎	◎	◎
会社法Ⅳ（資金調達・組織再編） J331-216-15	会社法のうち、資金調達と組織再編について学ぶ。	株式会社の資金調達にまつわる問題や、組織再編に関するテーマについて理解できる。	◎	△	◎				△	◎	◎	◎	◎	◎
商取引法A J331-216-16	消費者取引のしくみと法制度（消費者契約法・特定商取引法・金融商品販売法等）について学ぶ。	消費者問題を法的に分析できる。	◎	△	◎				△	◎	◎	◎	◎	◎

法学部法律学科 カリキュラムマップ			法学部法律学科のディプロマポリシー (DP)											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	J-DP1		J-DP2	J-DP3				J-DP4			J-DP5	
			汎用的知識		専門的知識	汎用的能力				専門的能力 (法的判断能力)			豊かな人間性	
			J-DP1-1	J-DP1-2	J-DP2	J-DP3-1	J-DP3-2	J-DP3-3	J-DP3-4	J-DP4-1	J-DP4-2	J-DP4-3	J-DP5-1	J-DP5-2
			社会に関する知識の理解	多様な文化に関する知識の理解	法学の体系的知識の理解	自己管理能力の修得	コミュニケーション能力の修得	チームワーク力の修得	文章作成能力の修得	事実を客観的に把握する能力の修得	体系的・論理的に思考する能力の修得	物事を公正に判断する能力の修得	「公正」「正義」に代表される法の精神の理解	市民としての社会的責任の自覚
商取引法B J331-216-17	企業同士の取引に関するルールと手形等の決済手段について学ぶ。	企業間取引を法的に分析できる。	◎	△	◎				△	◎	◎	◎	◎	◎
保険法A J331-216-18	保険制度および損害保険契約法の基礎理論を学ぶ。	損害保険のしくみ・契約内容およびそれらの法的諸問題が理解できる。	◎	△	◎				△	◎	◎	◎	◎	◎
保険法B J331-216-19	生命保険契約法・傷害疾病保険契約法について学ぶ。	生命保険や傷害保険のしくみとその法的諸問題が理解できる。	◎	△	◎				△	◎	◎	◎	◎	◎
民事訴訟法A J331-216-20	民事訴訟で行われる審理を理論的な側面から学ぶ。	社会人として市民生活上の紛争に適切に対処するために役立つ基礎的な民事訴訟法上の専門知識を身につけ、民事訴訟の審理で行われていることを理解できる。	◎	△	◎					◎	◎	◎	◎	◎
民事訴訟法B J331-216-21	口頭弁論の手続、上訴手続、判決効など、民事訴訟法Aで取上げられなかった項目を理論的に学ぶ。	社会人として紛争に適切に対処するのに役立つ基礎的な法的専門知識を身につけ、民事訴訟で行われていることを理論的に理解できる。	◎	△	◎					◎	◎	◎	◎	◎
民事執行・保全法 J331-216-22	民事執行および民事保全、特に前者の手続を理解するために、その基礎概念や手続の概要を学ぶ。	社会で生起している執行関係事件を法的に正しく認識できるようにするとともに、請求権の実現に迫られたとき社会人として適切に対処するために必要な基礎的専門知識を身につける。	◎	△	◎					◎	◎	◎	◎	◎
倒産処理法 J331-216-23	倒産処理手続の社会的意義および手続の全体像を学び、倒産処理手続の中核的な存在である破産手続の概要を理解する。	社会で生起している倒産事件を法的に正しく認識できるようにするとともに、社会人として倒産という事態に適切に対処するために必要な基礎的専門知識を身につける。	◎	△	◎					◎	◎	◎	◎	◎
労働法A J331-214-01	労働基準法を中心とした雇用関係法について学ぶ。	雇用関係法によって労働者の権利がどのように保護されているのか理解できる。	◎	△	◎				△	◎	◎	◎	◎	◎
労働法B J331-214-02	労働組合法を中心とした労使関係法について学ぶ。	労使関係法によって、労働者の権利がどのように保護されているのか理解できる。	◎	△	◎				△	◎	◎	◎	◎	◎
経済法A J331-214-03	独占禁止法の私的独占や不当な取引制限について学ぶ。	企業間の公正な競争秩序の維持が一般消費者の利益につながることを理解できる。	◎	△	◎				△	◎	◎	◎	◎	◎
経済法B J331-214-04	独占禁止法の不公正な取引方法や独占的地位について学ぶ。	企業間の公正な競争秩序の維持によって、様々な観点から一般消費者の利益保護がはなられていることを理解する。	◎	△	◎				△	◎	◎	◎	◎	◎
知的財産法A J331-217-01	特許法を中心に知的財産に関する問題を学ぶ。	特許に関する法的問題を理解できる。	◎	△	◎				△	◎	◎	◎	◎	◎

法学部法律学科 カリキュラムマップ			法学部法律学科のディプロマポリシー (DP)												
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	J-DP1		J-DP2	J-DP3				J-DP4			J-DP5		
			汎用的知識		専門的 知識	汎用的能力				専門的能力 (法的判断能力)			豊かな人間性		
			J-DP1-1	J-DP1-2	J-DP2	J-DP3-1	J-DP3-2	J-DP3-3	J-DP3-4	J-DP4-1	J-DP4-2	J-DP4-3	J-DP5-1	J-DP5-2	
			社会に関 する知識 の理解	多様な文化 に関する 知識の 理解	法学の 体系的知 識の理解	自己管理 力の修得	コミュニ ケーショ ン能力の 修得	チーム ワークカ ラの修得	文章作成 能力の修 得	事実を客 観的に把 握する能 力の修得	体系的・ 論理的に 思考する 能力の修 得	物事を公 正に判断 する能力 の修得	「公正」 「正義」に 代表され る法の精 神の理解	市民とし ての社会 的責任の 自覚	
知的財産法B J331-217-02	著作権法を中心に知的財産に関する問題を学ぶ。	著作権に関する法的問題を理解できる。	◎	△	◎					△	◎	◎	◎	◎	◎
国際法Ⅱ (紛争処理法) A J331-213-03	国際紛争の平和的解決に関する知識を修得する。	国際紛争の法的・政治的解決のあり方について考えられる。	◎	◎	◎						◎	◎	◎	◎	
国際法Ⅱ (紛争処理法) B J331-213-04	国際裁判の制度や意義、判例について学ぶ。	国際判例の解釈ができ、国際裁判のあり方について説明できる。	◎	◎	◎						◎	◎	◎	◎	
国際私法A J331-213-05	複数の国が関わる私法関係の規律。Aは国籍、国際私法（財産法）。	国籍、定住外国人の問題把握、国際私法枠組理解。	◎	◎	◎					◎	◎	◎	◎	◎	◎
国際私法B J331-213-06	複数の国が関わる私法関係の規律。Bは国際私法（家族法）。	外国法（家族法）の知識と国際私法枠組の理解。	◎	◎	◎					◎	◎	◎	◎	◎	◎
行政学A J331-222-03	行政組織の特徴と実際の行政運営について理論・歴史、実態を講述する。	行政組織の特徴とその運営について説明できる。	◎	◎	△		△			◎	◎	◎	◎	△	◎
行政学B J331-222-04	行政組織の管理と行政改革について、理論・歴史的展開を講義する。	日本を含めた世界の行政組織の管理と組織改革について説明できる。	◎	◎	△		△			◎	◎	◎	◎	△	◎
財政学A J331-235-01	国の予算制度および歳入・歳入構造を学んだうえで、租税制度についての諸問題を検討する。	国の財政制度のしくみを学ぶことで、財政資金の動きと経済活動への諸影響を捉える能力を培うことができる。	◎								◎	◎	◎	△	◎
財政学B J331-235-02	現代の財政問題として、公債発行と財政赤字問題および高齢社会を反映した社会保障財政について理論的・実証的に学ぶ。	財政赤字を削減しつつ、高齢社会を乗り切るための「税・社会保障一体改革」の評価を培うことができる。	◎								◎	◎	◎	△	◎
経済原論A J331-231-01	需要と供給で構成される市場経済の機能とそのメカニズムについて学ぶとともに、市場経済のもつ欠陥について検討する。	消費者や企業の合理的な行動による市場経済のしくみを学ぶことによって、経済学の効率性という概念の本質を培うことができる。	◎								◎	◎	◎		△
経済原論B J331-231-02	一国経済全体の経済の集計量の決定とその相互作用について学んだうえで、政府の経済政策の有効性を検討する。	経済の集計量間における相互作用を知ることにより、景気の現状や政府の経済政策を判断する能力を培うことができる。	◎								◎	◎	◎		△
総合民法 J131-216-04	スピード感をもって民法全体を概観することと、それで得られる体系観。	民法の規定対象がわかる。最重要単語を理解し説明できる。	◎		◎	◎				◎	△	◎	◎	◎	◎
法律実務Ⅰ J138-861-01	司法書士・行政書士・宅地建物取引士等の資格取得を目指す。	各種の資格を取得できる。	◎		◎	◎				◎					◎
法律実務Ⅱ J138-861-02	司法書士・行政書士・宅地建物取引士等の資格取得を目指す。	各種の資格を取得できる。	◎		◎	◎				◎					◎
特殊講義Ⅰ 租税法A（基礎） J331-212-09	租税について法的視点から基礎知識の定着をはかり、身近な課税問題を検討する。	租税法の基礎知識を理解し、課税のあり方を考える姿勢を身につける。	◎		◎						◎	◎	◎	◎	◎

法学部法律学科 カリキュラムマップ			法学部法律学科のディプロマポリシー (DP)												
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	J-DP1		J-DP2	J-DP3				J-DP4			J-DP5		
			汎用的知識		専門的知識	汎用的能力				専門的能力 (法的判断能力)			豊かな人間性		
			J-DP1-1	J-DP1-2	J-DP2	J-DP3-1	J-DP3-2	J-DP3-3	J-DP3-4	J-DP4-1	J-DP4-2	J-DP4-3	J-DP5-1	J-DP5-2	
			社会に関する知識の理解	多様な文化に関する知識の理解	法学の体系的知識の理解	自己管理能力の修得	コミュニケーション能力の修得	チームワーク力の修得	文章作成能力の修得	事実を客観的に把握する能力の修得	体系的・論理的に思考する能力の修得	物事を公正に判断する能力の修得	「公正」「正義」に代表される法の精神の理解	市民としての社会的責任の自覚	
特殊講義Ⅱ 租税法B (応用) J331-212-10	租税法律関係をめぐる行政過程の構造および実体法・手続法・争訟法上の関連事項を学ぶ。	各種の租税実定法と租税法の基礎理論とを有機的に理解する。	◎		◎					◎	◎	◎	○	◎	
特殊講義Ⅲ 金融商品取引法 J331-216-24	上場会社における株式発行・流通に関する事例を学ぶ。	上場会社規制について理解することができる。	◎	△	○					△	◎	◎	◎	◎	◎
特殊講義Ⅳ 証券市場論と法 J331-216-25	金融市場と法制度について学ぶ。	金融商品・証券市場と法のしくみが理解できる。	◎	△	○						◎	○	◎	○	◎
特殊講義Ⅴ 企業法特講 J331-216-26	株式会社に關する先端的な法的問題を学ぶ。	株式会社に關して、重要な問題や新たに生じている問題について理解することができる。	◎	△	○					△	◎	◎	◎	◎	◎
特殊講義Ⅵ 国際経済法 J331-213-08	貿易や国際投資について、国際法の観点から学ぶ。	国際経済法の体系的知識を修得し、その知識に基づき現代的諸問題を評価できる。	◎	○	○		△				◎	○	◎	○	△
特殊講義Ⅶ	本年度開講せず														
特殊講義Ⅷ	本年度開講せず														
特殊講義Ⅸ	本年度開講せず														
特殊講義Ⅹ ドイツ法A J331-211-09	ドイツの法制度・政治制度を概観する。	ドイツの法制度・政治制度の概略を理解する。	◎	◎	○					△	○	○	○	○	◎
特殊講義ⅩⅠ ドイツ法B J331-211-10	ドイツにおける社会および法の歴史と現状を解説する。	ドイツの法をめぐる社会の問題を知り、日本の社会と法が抱える問題点を考える手がかりを得る。	◎	◎	○					△	○	○	○	○	◎
特殊講義ⅩⅡ	本年度開講せず														
特殊講義ⅩⅢ 家族法 J331-216-27	民法Ⅶ（親族）および民法Ⅷ（相続）の補足および発展。	家族法に関わる幅広い知識を得て、それを説明できるようになること。	○	○	○	○				△	◎	◎	◎	◎	○
特殊講義ⅩⅣ (社会課題)	本年度開講せず														
特殊講義ⅩⅤ	本年度開講せず														
保険論A J331-236-01	保険は「危険」に対処するための手段として発展してきましたが、日本人は危険の意味さえもしく理解できていません。日本人の特徴を踏まえ、危険と保険そしてリスクの関係を理解してください。	「やばい!」と「危険」は同じ?日本語の「危険」はきわめて多義的で曖昧です。まず、保険理特有の危険の意味を理解し、正しい形でリスク対策としての保険理論を自分のものにしてください。	◎	△							○				◎
保険論B J331-236-02	保険論Aの知識を基礎にリスク対策としての保険について、その限界や限界の克服方法について学び始めます。保険論Aを履修していない学生も理解できるように工夫しますが、学生も頑張ってください!	保険はあらゆるリスクに対応できるものでないが、保険の限界克服のために日進月歩の発展をしています。それを理解し各種の保険の経営形態や国家の保険政策について理解してください。	◎								○				◎

法学部法律学科 カリキュラムマップ			法学部法律学科のディプロマポリシー (DP)											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	J-DP1		J-DP2	J-DP3				J-DP4			J-DP5	
			汎用的知識		専門的知識	汎用的能力				専門的能力 (法的判断能力)			豊かな人間性	
			J-DP1-1	J-DP1-2	J-DP2	J-DP3-1	J-DP3-2	J-DP3-3	J-DP3-4	J-DP4-1	J-DP4-2	J-DP4-3	J-DP5-1	J-DP5-2
			社会に関する知識の理解	多様な文化に関する知識の理解	法学の体系的知識の理解	自己管理能力の修得	コミュニケーション能力の修得	チームワーク力の修得	文章作成能力の修得	事実を客観的に把握する能力の修得	体系的・論理的に思考する能力の修得	物事を公正に判断する能力の修得	「公正」「正義」に代表される法の精神の理解	市民としての社会的責任の自覚
企業倫理 J331-238-01	企業倫理問題を理論と具体的な側面から接近する。理論学習は意思決定基盤の正しさを強化し、具体的なケース学習は、意思決定基盤を洗練し、強化する。一連の学習で得られた内在化された知見をケースライティングとしてまとめる。	他者に理解される形で自らの意思決定基盤について語れるようになるよう、(1)関連理論を踏まえて、価値判断を示すことができるようになること、(2)異なる価値観を持つ人々との共存を前提とする決定を行えるようになることを目標とする。	◎	○			○			○		◎	○	◎
金融論 A J331-236-03	金融論 A では、貨幣や金利、金融市場について学んでいく。理解を深めるため、関連するマクロ統計や金融に関するトピック的な話題も盛り込んでいく。	金融論 A では金融の基礎的な仕組みを理解することで、新聞やニュースで報道される現実の金融の動きを理解できるようになる。	◎							○				◎
金融論 B J331-236-04	金融論 B では、デリバティブやファイナンスを概観する。理解を深めるため、関連するマクロ統計や金融に関するトピック的な話題も盛り込んでいく。	金融論 B ではデリバティブやファイナンスの仕組みを理解することで、新聞やニュースで報道される現実の金融の動きを理解できるようになる。	◎							○		○		◎
法実務概論Ⅰ (司法実務) J331-217-03	弁護士、検察官、裁判官等法律実務家を講師として迎え、司法制度を支える法律専門職の実際の業務とその多様性、司法制度の現実について学ぶ。	司法制度の現状と課題を理解し、司法の現実の機能と役割、課題、業務の多様性について説明できる。	◎		○					○	○	○	◎	◎
法実務概論Ⅱ (地域行政実務) J331-217-04	愛知県と名古屋市から派遣される現役職員を講師として迎え、県政、市政に関わる具体的なテーマについて学ぶ。	愛知県政および名古屋市政の現状と課題を理解し、行政の現実の機能と役割、業務の多様性、法や法理論の現場での機能について説明できる。	◎		○					○	○	○	◎	◎
法実務概論Ⅲ (現代の社会課題) J331-217-05	弁護士・市長・知事の実務経験を踏まえ、地域の社会課題の検討を通し、政治、行政、法について現実的な視点で論じる。	政治・行政と社会のかかわりについて説明でき、現代の社会課題について多面的に分析できる。	◎		○					○	○	○	◎	◎
法実務概論Ⅳ	本年度開講せず													
法実務概論Ⅴ	本年度開講せず													
基礎演習Ⅰ J132-841-01	六法全書の使い方、判例・法律文献の探し方を学ぶ。	専門科目を学習していくうえで必要となる、リーガル・リテラシーを修得することができる。	◎	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○
基礎演習Ⅱ J232-841-02	各演習ごとに様々な法的・政治的トピックを取り上げ、受講者間での討論を行う。	様々な法的・政治的トピックについて、判例・文献等の情報収集を行い、調査をしたうえで、自分の意見を表明できるようになる。	◎	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○
専門演習Ⅰ J332-842-09	各演習ごとに様々な法的・政治的トピックを取り上げ、受講者間での討論を行う。	様々な法的・政治的トピックについて、判例・文献等の情報収集を行い、調査をしたうえで、自分の意見を表明できるようになる。	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○

法学部法律学科 カリキュラムマップ			法学部法律学科のディプロマポリシー (DP)											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	J-DP1		J-DP2	J-DP3				J-DP4			J-DP5	
			汎用的知識		専門的知識	汎用的能力				専門的能力 (法的判断能力)			豊かな人間性	
			J-DP1-1	J-DP1-2	J-DP2	J-DP3-1	J-DP3-2	J-DP3-3	J-DP3-4	J-DP4-1	J-DP4-2	J-DP4-3	J-DP5-1	J-DP5-2
			社会に関する知識の理解	多様な文化に関する知識の理解	法律学の体系的知識の理解	自己管理能力の修得	コミュニケーション能力の修得	チームワーク力の修得	文章作成能力の修得	事実を客観的に把握する能力の修得	体系的・論理的に思考する能力の修得	物事を公正に判断する能力の修得	「公正」「正義」に代表される法の精神の理解	市民としての社会的責任の自覚
専門演習Ⅱ J432-842-18	各演習ごとに様々な法的・政治的トピックを取り上げ、受講者間での討論を行う。	様々な法的・政治的トピックについて、判例・文献等の情報収集を行い、調査をしたうえで、自分の意見を表明できるようになる。	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	
法職演習Ⅰ J232-842-01	資格試験などの択一問題や事例問題を検討することで、法学分野の専門知識を学ぶ。	重要な判例や学説を理解し、論点について論理的に考えられるようになる。	○		◎		△	△	○	○	◎	○	○	△
法職演習Ⅱ J332-842-10	資格試験などの択一問題や事例問題を検討することで、法学分野の専門知識を学ぶ。	重要な判例や学説を理解し、論点について論理的に考えられるようになる。	○		◎		△	△	○	○	◎	○	○	△
法職演習Ⅲ J432-842-19	資格試験などの択一問題や事例問題を検討することで、法学分野の専門知識を学ぶ。	重要な判例や学説を理解し、論点について論理的に考えられるようになる。	○		◎		△	△	○	○	◎	○	○	△
外国書演習Ⅰ J332-843-01	英語等で書かれた法律関連文献を読む。	専門的な外国語文献を読むことができる。	○	◎		△	○	○	△	○	◎		○	△
外国書演習Ⅱ J432-843-02	英語等で書かれた法律関連文献を読む。	専門的な外国語文献を読むことができる。	○	◎		△	○	○	△	○	◎		○	△
キャリア・デザインⅠ J131-861-03	大学4年間を有意義に過ごし、変化の著しい社会に自信をもって踏み出すことができるよう、自律的な自己成長につながる行動様式を学ぶ。自己分析や社会理解を進め、視野を広げながら、効果的目標を設定する力、行動計画を作成する力、行動を振り返る力を身につける。また、ディスカッションやグループワーク等とおして、他者と協力する力を体験的に身につける。	大学生生活の充実のための目標を設定し、その実現のために行動できる。 自分の潜在的な可能性を見つけ出し、それを伸張するために行動できる。 自己理解を深め、他者に表現できる基礎的コミュニケーション力が身につく。 関心のある職業世界について情報を収集し、興味の幅を広げることができる。	◎			◎	◎	◎	○					○
キャリア・デザインⅡ A J231-861-04	情報処理の基礎知識を学び、PCを利用しながら、インターネット、ワード、パワーポイントを実践的に活用できるようにする。	インターネットと情報機器の知識と使い方を身に付け、ワード、パワーポイントを実践的に活用できる。	○			○			◎					
キャリア・デザインⅡ B J231-861-05	情報処理Aに引き続き、エクセルを中心に、PCを利用しながら、表・グラフ作成、関数を活用できるようにする。	エクセルの基礎知識を身に付け、表・グラフ作成、関数を実践的に活用できる。	○			○			◎					
キャリア・デザインⅢ J331-861-06	本学法学部の卒業生が講師となり、自らの職業や経験を通じてキャリアデザインの描き方などの助言を行う。	自らの人生設計を行い、就職活動や就職後の具体的な計画を立てる。	◎	△		◎	△	△	△	△	△	△		○
インターンシップ J238-861-07	将来のキャリアに関連した職業体験を行う。	将来のキャリア設計をより具体的に描くことができる。	◎	○		◎	◎	◎	◎					◎
産官民提携講座Ⅰ 税理士による租税講座 J331-861-08	税務の専門家である税理士から、税法、税制や会計について学び、税法と税理士の関わりや税理士業務の意義と役割について学ぶ。	税法、税制や会計の基本を理解し、租税に関する法や法理論の機能と課題等、税務の実際を知り、税理士業務の意義について説明できる。	◎		○					○	○	○	◎	◎

法学部法律学科 カリキュラムマップ			法学部法律学科のディプロマポリシー (DP)											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	J-DP1		J-DP2	J-DP3				J-DP4			J-DP5	
			汎用的知識		専門的知識	汎用的能力				専門的能力 (法的判断能力)			豊かな人間性	
			J-DP1-1	J-DP1-2	J-DP2	J-DP3-1	J-DP3-2	J-DP3-3	J-DP3-4	J-DP4-1	J-DP4-2	J-DP4-3	J-DP5-1	J-DP5-2
			社会に関する知識の理解	多様な文化に関する知識の理解	法学の体系的知識の理解	自己管理能力の修得	コミュニケーション能力の修得	チームワーク力の修得	文章作成能力の修得	事実を客観的に把握する能力の修得	体系的・論理的に思考する能力の修得	物事を公正に判断する能力の修得	「公正」「正義」に代表される法の精神の理解	市民としての社会的責任の自覚
産官民提携講座Ⅱ J131-861-09	「自分事」としてSDGs（持続可能な開発目標）の推進に関わり、他者や社会を巻き込んで、SDGsの達成に貢献するために必要な知識を幅広く学ぶ。	(1)SDGsの基本（理念、歴史、現状、未来）を説明できる。 (2)身近なトピックに即してSDGsの重要性を説明できる。 (3)「自分事」としてSDGsを捉え、SDGsの達成に資する具体的な行動変容のあり方を提案、説明できる。	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
産官民提携講座Ⅲ J331-861-10	「サステイナブル・スマート」を目指す名城公園キャンパスの構想から建築に関わった実務家、省CO ₂ の効果測定に携わる研究者を招聘し、キャンパスをフィールドとして理想と現実を行き来しながら実際に学ぶ。	まず地球温暖化と都市温暖化の実際を理解し、次いで省CO ₂ を実現する需要と供給両側面のエネルギー・マネジメントについて、工学的及び建築学的条件の最先端技術を学ぶことを目標とする。	◎							○				◎
産官民提携講座Ⅳ J331-861-11	社会問題の解決に貢献するソーシャルビジネスの創業・経営者を講師として招聘し、産官では対応できない問題に市民セクターがどのような取り組みをしているかを学ぶ。	第1に社会問題と解決策の最先端を学び生活者としての視野を広げ、第2に社会起業家との対話を通じて異文化コミュニケーション能力の向上を目指す。	◎							○				◎
産官民提携講座Ⅴ J331-861-12	まちづくり、地域活性化等で課題を抱える連携先とともに、課題克服策を検討し、対策を実践するフィールドワーク型の演習である。	地域問題の診断力、解決策の立案力、実務家への提案力と協働を通じた変革推進を支えるプロジェクトマネジメント力等の修得を目標とする。	◎				◎	◎		○				◎
産官民提携講座Ⅵ	本年度開講せず													

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項

○・・・DP達成のために、重要な事項

△・・・DP達成のために、望ましい事項

現代社会法学科 カリキュラムマップ

現代社会法学科は、「現代社会法学科 カリキュラム・ポリシー」（P.47参照）に則り、現実の諸問題を法的・政治的観点から考えることを重視した専門科目、キャリア・デザイン支援を目的とするキャリア教育科目を設置し、さらに少人数の演習科目を各学年に配置することにより1人1人に行き届いた教育を実践します。これらにより大学の建学の精神である「行学一体・報恩感謝」に基づき、豊かな人間性を涵養することを目指します。																
法学部現代社会法学科 カリキュラムマップ			法学部現代社会法学科のディプロマポリシー（DP）													
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	W-DP1		W-DP2	W-DP3				W-DP4			W-DP5			
			汎用的知識		専門的知識	汎用的能力				専門的能力 （法的判断能力）			豊かな人間性			
			W-DP1-1	W-DP1-2	W-DP2	W-DP3-1	W-DP3-2	W-DP3-3	W-DP3-4	W-DP4-1	W-DP4-2	W-DP4-3	W-DP5-1	W-DP5-2		
			社会に関する知識の理解	多様な文化に関する知識の理解	法学の体系的知識の理解	自己管理能力の修得	コミュニケーション能力の修得	チームワーク能力の修得	文章作成能力の修得	事実を客観的に把握する能力の修得	体系的・論理的に思考する能力の修得	物事を公正に判断する能力の修得	「公正」「正義」に代表される法の精神の理解	市民としての社会的責任の自覚		
法学 W131-211-01	近代法の基本原理、法学全体に共通する一般の問題、憲法・民法・刑法の基本原理を講義する。	法の基本原理を理解する。法律を読んで大まかな意味をつかめるようになる。基本的な法律の用語を使った説明ができるようになる。	◎	○	○					○	○	○	◎	◎	○	
憲法入門 W131-212-01	主権、人権保障、権力分立、平和主義についての概要を学ぶ。	憲法の基礎を理解し、憲法問題について自分で考えられるようになる。	○		◎						○	○	○	○	△	
人権論 W131-212-02	人権に関する多様な問題について多様な視点から学ぶ。	人権の理念、現状、課題を理解し、多様な人権問題について、自ら考える力を身につける。	○		◎							◎	◎	◎	○	○
刑事法入門 W131-215-01	人を罰する理由を考えたい、各種刑罰の内容や刑事法の基本原則を学ぶ。	刑事法に関する基本事項を理解するとともに、それを明確な言葉で説明する力を身につける。	◎		○							○	◎	◎	◎	△
民法入門 W131-216-01	六法の使い方、私法の位置づけと民法の基本原則、民法89条まで。	民法の性格と、学習範囲内の基礎的概念を、理解し説明できるようになる。	○		◎	◎					○	○	◎	◎	◎	◎
民法Ⅰ（総則） W131-216-02	民法の第1編「総則」を学ぶ。この授業では、市民生活に必要なルールの基礎を学ぶ。	財産関係や家族関係の両者に通じるルールを学ぶことで、民法のしくみを理解する。	◎	△	◎		△				○	○	○	◎	◎	◎
司法制度入門 W131-211-02	日本の司法制度の概要を確認し、その特徴や問題点について検討する。	法律専門科目を履修していくうえで必要となる司法制度の基礎知識を修得する。	◎	◎	○						○	○	◎	◎	○	◎
政治学入門 W131-222-01	政治学の初心者向けの入門書を解説を交えながら読み進めていく。	政治学の入門的な知識を修得し、それについて説明できるようになる。	◎	○	◎		△				○	○	◎		○	
行政法A W231-212-03	行政法の全体像および行政法総論の基礎的知識を学ぶ。	行政法の基本原理や独自のしくみを理解し、論理的文章で説明できる。	◎		◎						○	○	◎	○	○	○
行政法B W331-212-04	行政法総論の現代的課題に関する発展的知識を学ぶ。	行政活動に対する法的統制の現状を分析し、論理的文章で説明できる。	◎	△	◎						○	◎	◎	○	○	○
刑法（総論） W231-215-02	あらゆる犯罪に共通する成立要件を学ぶ。	刑事事件を、体系的思考に基づいて解決する力を身につける。	○		◎						○	◎	◎	◎	◎	
刑法（各論） W231-215-03	個別の犯罪ごとに、その処罰理由・成立要件を学ぶ。	各種犯罪の成否を、刑法各則の解釈を通じて判断する力を身につける。	○		◎						○	◎	◎	◎	◎	
民法Ⅱ（物の利用と法） W231-216-04	「物」の利用を可能にする法的なしくみについて学ぶ。	特に物権法、債権法制の基礎的知識を修得する。	○		◎	○					○	○	◎	◎	○	○
民法Ⅲ（財産取引と法） W231-216-05	本講義では、民法第3編債権のうち、契約総論および各論部分を対象とし、契約法の全体像を把握する。	裁判例の検討を通じて、契約法のルールが社会の中でどのように活用されているかを理解し、それを説明できるようになる。	○	△	◎	△					○	◎	◎	◎	◎	◎

法学部現代社会法学科 カリキュラムマップ			法学部現代社会法学科のディプロマポリシー (DP)											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	W-DP1		W-DP2	W-DP3				W-DP4			W-DP5	
			汎用的知識		専門的知識	汎用的能力				専門的能力 (法的判断能力)			豊かな人間性	
			W-DP1-1 社会に関する知識の理解	W-DP1-2 多様な文化に関する知識の理解	W-DP2 法学の体系的知識の理解	W-DP3-1 自己管理能力の修得	W-DP3-2 コミュニケーション能力の修得	W-DP3-3 チームワーク能力の修得	W-DP3-4 文章作成能力の修得	W-DP4-1 事実を客観的に把握する能力の修得	W-DP4-2 体系的・論理的に思考する能力の修得	W-DP4-3 物事を公正に判断する能力の修得	W-DP5-1 「公正」「正義」に代表される法の精神の理解	W-DP5-2 市民としての社会的責任の自覚
損害賠償と法 W231-216-06	民法第3編債権のうち、債務不履行責任および不法行為責任の各制度の解説。	社会の中で生きている損害賠償法のルールを理解し、説明できるようになる。	○	△	◎	△				○	◎	◎	◎	◎
政治学原論 W231-222-02	政治学の入門書を読み進めながら、基礎概念について解説する。	政治学の基礎的な概念について理解し、それを説明できるようになる。	◎	○	◎		△			○	○	◎		○
国際法の構造と機能 W231-213-01	複雑化する現代国際社会について、国際法という法的側面から学ぶ。	国際社会の「法の支配」について理解し、国際問題について法的観点から考えられる。	◎	◎	○					◎	○	○	○	△
法と社会 W231-211-03	現代社会の法的問題を原理的に考えるために欠かせないリベラリズムの考え方、および正義について理解する。	現代社会の法的問題を発見し、基本概念を用いて原理的に考えることができるようになる。	◎	○	○					○	◎	◎	○	◎
法と倫理 W331-211-04	生命倫理問題について法的にどのように考えたらよいかを考察する。	生命倫理問題の背景を理解し、法的な解決策を考えることができるようになる。	◎	○	○		△			○	○	◎	◎	○
紛争解決と法 W331-216-10	民事訴訟以外で民事紛争の解決のために利用されている諸手続の概要を知り、それらの特徴を比較考察することにより、我が国における紛争解決手続の全体像を明らかにする。	現実の社会で民事紛争がどのように解決されているかを理解し、それを通じて、社会人として紛争に適切に対処するために必要な、民事手続法の基礎的専門知識を身につける。	◎	△	○					○	◎	◎	◎	◎
環境と法 W331-217-02	なごや環境大学を通して、産、官、民それぞれのセクターから専門家を講師として迎え、環境問題の現状や持続可能な社会を実現するための法制度と実践的な取り組みについて学ぶ。	持続可能な社会を実現するための様々な法制度、環境問題とそれに対する実践的な取り組みの現状、持続可能な社会を実現するための産官民の協働のあり方について説明できる。	◎	○	○					◎	◎	◎	○	◎
NPOと法 W331-217-03	ボランティア活動や非営利組織が何か、そして、それがこの社会でどのような役割を果たしているのかについて、基礎的な知識を提供する。	基礎的な知識を得るだけではなく、ボランティア活動の意義を理解し、自らもボランティア活動に加われるようになる。	◎			○	○	○		◎	○	◎		◎
情報と法 W231-217-01	情報管理・提供サービスの電子化・ネットワーク化に伴う、インフラやセキュリティ、個人情報の保護、著作権保護などをめぐる法的諸問題について考察する。	インターネット上の情報を活用するのに必要な法的リテラシーを修得できる。	◎		△				△	○	○	○		○
メディアと法 W331-217-04	現代社会においてメディアの果たしている役割と問題点について考える。	メディアの役割を理解し、メディアについて批判的に考えることができるようになる。	○		○				△	◎	◎	○	○	○
ジャーナリズム論 W331-261-01	現代社会におけるジャーナリズムの役割と課題について、ジャーナリズムの現場に精通する現役のジャーナリストから学び、考える。	ジャーナリズムの社会的役割と課題、表現の自由、報道の自由の意義、メディアリテラシーについて説明できる。	◎	◎	○					◎	◎	◎	○	◎
現代社会と犯罪 W231-215-04	交通犯罪について、法学、社会学、心理学など多角的な検討を行う。	問題を分析的にとらえ、政策提言できる能力を養う。	◎						○	◎	◎	◎	○	◎

法学部現代社会法学科 カリキュラムマップ			法学部現代社会法学科のディプロマポリシー (DP)											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	W-DP1		W-DP2	W-DP3				W-DP4			W-DP5	
			汎用的知識		専門的知識	汎用的能力				専門的能力 (法的判断能力)			豊かな人間性	
			W-DP1-1 社会に関する知識の理解	W-DP1-2 多様な文化に関する知識の理解	W-DP2 法学の体系的知識の理解	W-DP3-1 自己管理能力の修得	W-DP3-2 コミュニケーション能力の修得	W-DP3-3 チームワーク能力の修得	W-DP3-4 文章作成能力の修得	W-DP4-1 事実を客観的に把握する能力の修得	W-DP4-2 体系的・論理的に思考する能力の修得	W-DP4-3 物事を公正に判断する能力の修得	W-DP5-1 「公正」「正義」に代表される法の精神の理解	W-DP5-2 市民としての社会的責任の自覚
民事裁判と法 W331-216-11	民事紛争を解決するための制度の中核をなす民事訴訟の概要を知り、その手続の基礎となる理論を理解することにより、民事訴訟手続の全体像を明らかにする。	民事訴訟がどのように行われ、事案がどのように処理されているかを理解し、それを通じて、社会人として民事訴訟に適切に対処するために必要な、民事訴訟法の基礎的専門知識を身につける。	○	△	◎					○	◎	◎	◎	◎
刑事裁判と法 W331-215-07	捜査手続を中心に、刑事司法裁判制度の概要を確認し、その特徴や問題点について検討する。	各種捜査の適法性に関する判例の判断枠組みを理解し、それを適用する能力を修得する。	◎	○	◎		○	○	○	◎	◎	◎	◎	○
行政紛争と法 W331-212-09	行政活動をめぐる紛争を解決する法的しくみに関する知識を学ぶ。	行政紛争解決の法的しくみの現状を分析し、論理的文章で説明できる。	◎		◎				○	◎	◎	◎	○	○
福祉社会と法 W231-214-01	日本の福祉政策の歩み、これからの福祉政策のあり方を学ぶ。	日本の福祉政策の過去と未来を総合的に理解できるようにする。	◎		◎		△		○	○	○	○	○	○
現代社会と家族 W231-216-07	家族法（婚姻法、離婚法、親子法、相続法）の解説。	家族法に関する正確な知識を得て、それを説明できるようになる。	○		◎	△				△	○	◎	◎	○
社会保障と法 W331-214-02	日本の社会保障制度を保険・医療・福祉の観点から学習する。	日本の社会保障関連法・政策を総合的に理解できるようになる。	◎		◎		△		○	○	○	○	○	○
家族と福祉 W331-216-12	親と未成年・子と老親という視点からの、親子に関わる諸問題の考察。	民法等の法律を手がかりに、自分の意見を表明できるようにする。	○		○	△			○	◎	◎	◎	◎	◎
ジェンダーと法 (総論) W331-217-05	ジェンダーに関する法的問題を考えるための基本的視座を講義し、婚姻と親子をめぐる具体的問題について考察する。	婚姻と親子をめぐる具体的な法的問題をジェンダーの視点から考えることができるようになる。	◎	○	○				△	◎	○	◎	○	◎
ジェンダーと法 (各論) W331-217-06	ジェンダーと法の観点から、労働と暴力をめぐる具体的問題について考察する。	労働と暴力をめぐる具体的な法的問題をジェンダーの視点から考えることができるようになる。	◎	○	○				△	◎	○	◎	○	◎
少年法（手続） W331-215-05	少年非行の背景を考えながら、「融合分野」としての少年法を学ぶ。	非行の背景を考える姿勢を持ち、少年法の特徴と課題を理解する。	◎		△		△		○	◎	◎	◎	○	○
少年法（処遇） W331-215-06	被害者支援について考え、保護処分の特徴と課題について学ぶ。	被害者支援、少年処遇のあり方について政策提言できる能力を養う。	◎		△		△		○	◎	◎	◎	○	○
金融担保と法 W331-216-13	資金調達の方法を特に担保物権法制的基礎理解を通じて学ぶ。	担保物権法制的基礎知識を修得できる。	○		◎	○			○	○	◎	◎	○	○
消費者と法 W331-217-07	消費者トラブルの事象と体系の両面からの理解と、回避方法の考察。	多面的なアプローチでの理解、またそれと法的解決とを両立させることができる。	○		△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
現代社会と保険 W331-216-14	保険制度と保険契約について学ぶ。	保険制度と保険法の諸問題が理解できる。	◎	△	◎				△	◎	◎	◎	◎	◎
交通災害と補償 W331-216-15	交通事故の損害賠償責任と損害の算定について学ぶ。	交通事故に関する法的諸問題を理解し、これを適切に処理することができる。	◎	△	◎				△	◎	◎	◎	◎	◎

法学部現代社会法学科 カリキュラムマップ			法学部現代社会法学科のディプロマポリシー（DP）											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	W-DP1		W-DP2	W-DP3				W-DP4			W-DP5	
			汎用的知識		専門的知識	汎用的能力				専門的能力 (法的判断能力)			豊かな人間性	
			W-DP1-1 社会に関する知識の理解	W-DP1-2 多様な文化に関する知識の理解	W-DP2 法学の体系的知識の理解	W-DP3-1 自己管理能力の修得	W-DP3-2 コミュニケーション能力の修得	W-DP3-3 チームワーク能力の修得	W-DP3-4 文章作成能力の修得	W-DP4-1 事実を客観的に把握する能力の修得	W-DP4-2 体系的・論理的に思考する能力の修得	W-DP4-3 物事を公正に判断する能力の修得	W-DP5-1 「公正」「正義」に代表される法の精神の理解	W-DP5-2 市民としての社会的責任の自覚
企業と法 W231-216-08	企業の活動に関するルールの概要を全体的に学ぶ。	企業活動とルールの接点をとらえ、その特徴や役割について、導入的な知識を整理することができる。	◎	△	◎				△	◎	◎	◎	◎	◎
企業の運営と法 W231-216-09	コーポレートガバナンスに関する事例を学ぶ。	株式会社の統治ルールについて、理解することができる。	◎	△	◎				△	◎	◎	◎	◎	◎
企業の資金調達・再編と法 W331-216-16	コーポレートファイナンスに関する事例を学ぶ。	株式会社の資金調達および組織再編のルールについて、理解することができる。	◎	△	◎				△	◎	◎	◎	◎	◎
企業取引と法 W331-216-17	多様な企業間取引に関するルールについて学ぶ。	さまざまな企業間取引には、どのように特徴づけられ利用されているのか理解することができる。	◎	△	◎				△	◎	◎	◎	◎	◎
労働と法 W331-214-03	労働基準法を中心とした労働者のための法律について学ぶ。	労働者保護のルールを考察するとともに、問題解決能力を身につけることができる。	◎	△	◎				△	◎	◎	◎	◎	◎
地方政治 W231-222-03	昭和期の政党政治について、地方に視点を据えて解説する。	大正から昭和初期に至る時期の政治史について説明できるようになる。	◎		◎		△		○	○	◎		△	
地方自治と法 W331-212-05	地方自治の基本的な考え方、地方自治の法としくみについての基礎的知識を身につける。	地方自治とは何か、地方自治の法としくみはどのようなものか、などの点を体系的に理解し、論理的文章で説明できる。	◎		◎				○	○	◎	○	○	○
国家と宗教 W331-212-06	信教の自由の法思想的考察、および憲法学考察に基づきながら信教の自由と政教分離について講義する。	信教の自由と政教分離の歴史的・法的意義について理解する。	◎	○	○				△	○	○	◎	○	◎
日本の行政 W331-222-06	行政組織の特徴と実際の行政運営について、理論・歴史、実態を講述する。	行政組織の特徴とその運営について説明できるようになる。	◎	○	◎		△		○	◎	○	○		△
日本政治史 W231-222-04	昭和戦前・戦中期の政治史について、その概略を解説する。	昭和戦前・戦中期の政治史について説明できるようになる。	◎		◎		△		○	○	◎		△	
西洋政治史 W331-222-07	第二次世界大戦後から現在までのドイツ外交政策について講じる。	ヨーロッパ政治で中核を占めるドイツの外交を理解する。	◎	◎	◎		△		○	○	○		△	
政党史 W331-222-08	昭和戦中・戦後初期の政治史について、政党を中心に解説する。	戦中・戦後初期の政治史について説明できるようになる。	◎	○	◎		△		○	○	◎		△	
政治思想史 W331-222-09	主要な政治思想を歴史の中に位置づけて解説する。	政治を思想的な背景を踏まえ理解する。	◎	◎	◎		△		○	○	○		○	○
比較政治 W331-222-10	イギリスと日本を比べながら、民主主義について論じる。	民主主義と議院内閣制の基本的知識を獲得できる。	◎	◎	○		◎		◎	○	◎	○	◎	◎
国際法と平和 W231-213-02	国際社会における紛争の平和的な解決手段について学ぶ。	国際法による国際紛争の平和的解決について理解し説明できる。	◎	◎	○					◎	◎	○	○	△
国際機構と法 W331-213-03	国際機構を規律する国際法の基礎的な知識の修得を目的とする。	国連等のしくみや活動について理解し、法的観点から評価できる。	◎	◎	○		△			◎	◎	◎	○	△

法学部現代社会法学科 カリキュラムマップ			法学部現代社会法学科のディプロマポリシー (DP)											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	W-DP1		W-DP2	W-DP3				W-DP4			W-DP5	
			汎用的知識		専門的知識	汎用的能力				専門的能力 (法的判断能力)			豊かな人間性	
			W-DP1-1	W-DP1-2	W-DP2	W-DP3-1	W-DP3-2	W-DP3-3	W-DP3-4	W-DP4-1	W-DP4-2	W-DP4-3	W-DP5-1	W-DP5-2
			社会に関する知識の理解	多様な文化に関する知識の理解	法学の体系的知識の理解	自己管理能力の修得	コミュニケーション能力の修得	チームワーク能力の修得	文章作成能力の修得	事実を客観的に把握する能力の修得	体系的・論理的に思考する能力の修得	物事を公正に判断する能力の修得	「公正」「正義」に代表される法の精神の理解	市民としての社会的責任の自覚
国際紛争と法 W331-213-04	国際紛争の解決に必要な国際法の基礎的な知識の修得を目的とする。	戦争や安全保障に関する国際法を理解し、法的観点から評価できる。	◎	◎	○		△			◎	◎	◎	○	△
国際人権と法	本年度開講せず													
国際政治史 W231-222-05	ウィーン体制から東西冷戦の終結までのヨーロッパ政治史を講じる。	19世紀から20世紀にかけてのヨーロッパ国際政治を理解する。	◎	◎	◎		△		○	○			△	
国際関係論 W331-222-11	ヨーロッパ統合の歴史およびEUのしくみを講義する。	ヨーロッパ統合の歴史、EUの組織・機能、その意義について理解する。	◎	◎	◎		△		○	○			△	
総合民法 W131-216-03	スピード感をもって民法全体を概観することと、それで得られる体系観。	民法の規定対象がわかる。最重要単語を理解し説明できる。	◎		◎	◎			○	△	◎	○	○	○
法律実務Ⅰ W138-861-01	司法書士・行政書士・宅地建物取引士等の資格取得を目指す。	各種の資格を取得できる。	○		○	◎			○					○
法律実務Ⅱ W138-861-02	司法書士・行政書士・宅地建物取引士等の資格取得を目指す。	各種の資格を取得できる。	○		○	◎			○					○
特殊講義Ⅰ 租税法A（基礎） W331-212-07	租税について法的視点から基礎知識の定着をはかり、身近な課税問題を検討する。	租税法の基礎知識を理解し、課税のあり方を考える姿勢を身につける。	◎		◎					○	◎	○	○	◎
特殊講義Ⅱ 租税法B（応用） W331-212-08	租税法律関係をめぐる行政過程の構造および実体法・手続法・争訟法上の関連事項を学ぶ。	各種の租税実定法と租税法の基礎理論とを有機的に理解する。	◎		◎					◎	◎	◎	○	◎
特殊講義Ⅲ 金融商品取引法 W331-216-18	上場会社における株式発行・流通に関する事例を学ぶ。	上場会社規制について理解することができる。	◎	△	○				△	◎	◎	◎	◎	◎
特殊講義Ⅳ 証券市場論と法 W331-216-19	金融市場と法制度について学ぶ。	金融商品・証券市場と法のしくみが理解できる。	◎	△	○					◎	○	◎	○	◎
特殊講義Ⅴ 企業法特講 W331-216-20	株式会社に關する先端的な法的問題を学ぶ。	株式会社に關して、重要な問題や新たに生じている問題について理解することができる。	◎	△	○				△	◎	◎	◎	◎	◎
特殊講義Ⅵ 国際経済と法 W331-213-06	貿易や国際投資について、国際法の観点から学ぶ。	国際経済法の体系的知識を修得し、その知識に基づき現代的諸問題を評価できる。	◎	○	○		△			◎	◎	◎	○	△
特殊講義Ⅶ	本年度開講せず													
特殊講義Ⅷ	本年度開講せず													
特殊講義Ⅸ	本年度開講せず													
特殊講義Ⅹ	本年度開講せず													
特殊講義ⅩⅠ	本年度開講せず													
特殊講義ⅩⅡ	本年度開講せず													
特殊講義ⅩⅢ	本年度開講せず													
特殊講義ⅩⅣ	本年度開講せず													
特殊講義ⅩⅤ	本年度開講せず													

法学部現代社会法学科 カリキュラムマップ			法学部現代社会法学科のディプロマポリシー（DP）											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	W-DP1		W-DP2	W-DP3				W-DP4			W-DP5	
			汎用的知識		専門的知識	汎用的能力				専門的能力 (法的判断能力)			豊かな人間性	
			W-DP1-1 社会に関する知識の理解	W-DP1-2 多様な文化に関する知識の理解	W-DP2 法学の体系的知識の理解	W-DP3-1 自己管理能力の修得	W-DP3-2 コミュニケーション能力の修得	W-DP3-3 チームワーク力の修得	W-DP3-4 文章作成能力の修得	W-DP4-1 事実を客観的に把握する能力の修得	W-DP4-2 体系的・論理的に思考する能力の修得	W-DP4-3 物事を公正に判断する能力の修得	W-DP5-1 「公正」「正義」に代表される法の精神の理解	W-DP5-2 市民としての社会的責任の自覚
金融論 A W331-236-01	標準的な金融論（主として制度・政策面）の考え方の基本を学ぶ。	現代経済経営の金融面における諸領域の基礎について修得し主要事項について説明できるようになる。金融制度・政策にわたる多角的視点から考察できる。	○							○	◎	○		◎
金融論 B W331-236-02	標準的な金融論（主として理論・政策面）の考え方の基本を学ぶ。	現代経済経営の金融面における諸領域の基礎について修得し主要事項について説明できるようになる。金融理論・政策にわたる多角的視点から考察できる	◎							○	◎	○		◎
コーポレート・ガバナンス W331-238-01	企業をリードする経営者とその影響をうける株主、従業員のような関係者の間の利害調整を行い、リーダーの意思決定の統御を行う仕組みが学習対象である。関連制度を理解し、主要論点や理論を、ケースを通じて学ぶ。	コーポレート・ガバナンスに関連する制度を理解し、企業に要求されていることを読み取れるようになること、および関連理論や分析指標を理解し、使いこなし、具体的な企業の分析を行えるようになることが目標である。	◎							○	◎	◎		◎
社会政策論 A W331-235-01	人々の基本的な労働と生活を保障するのが社会政策であり、わが国では厚生労働省の管轄となる。雇用保障・生活保障について、これまでの展開、現状と今後を政策論的に論じる。	雇用保障・生活保障はますます重要性を増しつつあり、それらの位相を握り下げて学習することによって現代日本における課題や問題点を把握できるようにする。	◎							○	◎	◎		◎
社会政策論 B W331-235-02	人々の基本的な労働と生活を保障するのが社会政策であり、わが国では厚生労働省の管轄となる。雇用保障・生活保障について、これまでの展開、現状と今後を政策論的に論じる。	雇用保障・生活保障はますます重要性を増しつつあり、それらの位相を握り下げて学習することによって現代日本における課題や問題点を把握できるようにする。	◎							○	◎	◎		◎
社会思想史 W331-232-01	古代から近代、現代までのメジャーな思想家は社会について、どのように把握し、人間はどのような社会に生きることが望ましいと考えたかを振り返る。	メジャーな思想家の仕事を知って、社会についての多様な見方があることを認識する。	◎	◎						○	◎	○		◎
法実務概論Ⅰ (司法実務) W331-217-08	弁護士、検察官、裁判官等法律実務家を講師として迎え、司法制度を支える法律専門職の実際の業務とその多様性、司法制度の現実について学ぶ。	司法制度の現状と課題を理解し、司法の現実の機能と役割、課題、業務の多様性について説明できる。	◎		○					◎	○	◎	◎	◎
法実務概論Ⅱ (地域行政実務) W331-217-09	愛知県と名古屋市から派遣される現役職員を講師として迎え、県政、市政に関わる具体的なテーマについて学ぶ。	愛知県政および名古屋市政の現状と課題を理解し、行政の現実の機能と役割、業務の多様性、法や法理論の現場での機能について説明できる。	◎		○					◎	○	◎	◎	◎
法実務概論Ⅲ (現代の社会課題) W331-217-10	弁護士・市長・知事の実務経験を踏まえ、地域の社会課題の検討を通し、政治、行政、法について現実的な視点で論じる。	政治・行政と社会のかかわりについて説明でき、現代の社会課題について多面的に分析できる。	◎		○					○	○	○	◎	◎
法実務概論Ⅳ	本年度開講せず													

法学部現代社会法学科 カリキュラムマップ			法学部現代社会法学科のディプロマポリシー (DP)											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	W-DP1		W-DP2	W-DP3				W-DP4			W-DP5	
			汎用的知識		専門的知識	汎用的能力				専門的能力 (法的判断能力)			豊かな人間性	
			W-DP1-1 社会に関する知識の理解	W-DP1-2 多様な文化に関する知識の理解	W-DP2 法学の体系的知識の理解	W-DP3-1 自己管理能力の修得	W-DP3-2 コミュニケーション能力の修得	W-DP3-3 チームワーク力の修得	W-DP3-4 文章作成能力の修得	W-DP4-1 事実を客観的に把握する能力の修得	W-DP4-2 体系的・論理的に思考する能力の修得	W-DP4-3 物事を公正に判断する能力の修得	W-DP5-1 「公正」「正義」に代表される法の精神の理解	W-DP5-2 市民としての社会的責任の自覚
法実務概論Ⅴ	本年度開講せず													
基礎演習Ⅰ W132-841-01	六法全書の使い方、判例・法律文献の探し方を学ぶ。	専門科目を学習していくうえで必要となる、リーガル・リテラシーを修得することができる。	◎	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○
基礎演習Ⅱ W232-841-02	各演習ごとに様々な法的・政治的トピックを取り上げ、受講者間での討論を行う。	様々な法的・政治的トピックについて、判例・文献等の情報収集を行い、調査をしたうえで、自分の意見を表明できるようになる。	◎	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○
専門演習Ⅰ W332-842-09	各演習ごとに様々な法的・政治的トピックを取り上げ、受講者間での討論を行う。	様々な法的・政治的トピックについて、判例・文献等の情報収集を行い、調査をしたうえで、自分の意見を表明できるようになる。	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
専門演習Ⅱ W432-842-18	各演習ごとに様々な法的・政治的トピックを取り上げ、受講者間での討論を行う。	様々な法的・政治的トピックについて、判例・文献等の情報収集を行い、調査をしたうえで、自分の意見を表明できるようになる。	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
法職演習Ⅰ W232-842-01	資格試験などの択一問題や事例問題を検討することで、法学分野の専門知識を学ぶ。	重要な判例や学説を理解し、論点について論理的に考えられるようになる。	○		◎		△	△	○	○	◎	○	○	△
法職演習Ⅱ W332-842-10	資格試験などの択一問題や事例問題を検討することで、法学分野の専門知識を学ぶ。	重要な判例や学説を理解し、論点について論理的に考えられるようになる。	○		◎		△	△	○	○	◎	○	○	△
法職演習Ⅲ W432-842-19	資格試験などの択一問題や事例問題を検討することで、法学分野の専門知識を学ぶ。	重要な判例や学説を理解し、論点について論理的に考えられるようになる。	○		◎		△	△	○	○	◎	○	○	△
外国書演習Ⅰ W332-843-01	英語等で書かれた法律関連文献を読む。	専門的な外国語文献を読むことができる。	○	◎		△	○	○	△	○	◎		○	△
外国書演習Ⅱ W432-843-02	英語等で書かれた法律関連文献を読む。	専門的な外国語文献を読むことができる。	○	◎		△	○	○	△	○	◎		○	△
キャリア・デザインⅠ W131-861-03	大学4年間で有意義に過ごし、変化の著しい社会に自信をもって踏み出すことができるよう、自律的な自己成長につながる行動様式を学ぶ。自己分析や社会理解を進め、視野を広げながら、効果的目標を設定する力、行動計画を作成する力、行動を振り返る力を身につける。また、ディスカッションやグループワーク等をととして、他者と協力する力を体験的に身につける。	大学生生活の充実のための目標を設定し、その実現のために行動できる。自分の潜在的な可能性を見つけ出し、それを伸張するために行動できる。自己理解を深め、他者に表現できる基礎的コミュニケーション力が身につく。関心のある職業世界について情報を収集し、興味の幅を広げることができる。	◎			◎	◎	◎	○					○
キャリア・デザインⅡ A W331-861-04	情報処理の基礎知識を学び、PCを利用しながら、インターネット、ワード、パワーポイントを実践的に活用できるようにする。	インターネットと情報機器の知識と使い方を身に付け、ワード、パワーポイントを実践的に活用できる。	○			○			◎					

法学部現代社会法学科 カリキュラムマップ			法学部現代社会法学科のディプロマポリシー（DP）											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	W-DP1		W-DP2	W-DP3				W-DP4			W-DP5	
			汎用的知識		専門的知識	汎用的能力				専門的能力 (法的判断能力)			豊かな人間性	
			W-DP1-1 社会に関する知識の理解	W-DP1-2 多様な文化に関する知識の理解	W-DP2 法学の体系的知識の理解	W-DP3-1 自己管理能力の修得	W-DP3-2 コミュニケーション能力の修得	W-DP3-3 チームワーク力の修得	W-DP3-4 文章作成能力の修得	W-DP4-1 事実を客観的に把握する能力の修得	W-DP4-2 体系的・論理的に思考する能力の修得	W-DP4-3 物事を公正に判断する能力の修得	W-DP5-1 「公正」「正義」に代表される法の精神の理解	W-DP5-2 市民としての社会的責任の自覚
キャリア・デザインⅡ B W331-861-05	情報処理Aに引き続き、エクセルを中心に、PCを利用しながら、表・グラフ作成、関数を活用できるようにする。	エクセルの基礎知識を身につけ、表・グラフ作成、関数を実践的に活用できる。	○			○			◎					
キャリア・デザインⅢ W331-861-06	本学法学部の卒業生が講師となり、自らの職業や経験を通じてキャリアデザインの描き方などの助言を行う。	自らの人生設計を行い、就職活動や就職後の具体的な計画を立てる。	◎	△		◎	△	△	△	△	△	△		○
インターンシップ W238-861-07	将来のキャリアに関連した職業体験を行う。	将来のキャリア設計をより具体的に描くことができる。	◎	○		◎	◎	◎	◎					◎
産官民提携講座Ⅰ 税理士による租税講座 W331-861-08	税務の専門家である税理士から、税法、税制や会計について学び、税法と税理士の関わりや税理士業務の意義と役割について学ぶ。	税法、税制や会計の基本を理解し、租税に関する法や法理論の機能と課題等、税務の実態を知り、税理士業務の意義について説明できる。	◎		○					◎	○	◎	◎	◎
産官民提携講座Ⅱ W131-861-09	「自分事」としてSDGs（持続可能な開発目標）の推進に関わり、他者や社会を巻き込んで、SDGsの達成に貢献するために必要な知識を幅広く学ぶ。	(1)SDGsの基本（理念、歴史、現状、未来）を説明できる。 (2)身近なトピックに即してSDGsの重要性を説明できる。 (3)「自分事」としてSDGsを捉え、SDGsの達成に資する具体的な行動変容のあり方を提案、説明できる。	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
産官民提携講座Ⅲ W331-861-10	「サステナブル・スマート」を目指す名城公園キャンパスの構想から建築に関わった実務家、省CO ₂ の効果測定に携わる研究者を招聘し、キャンパスをフィールドとして理想と現実を行き来しながら実際に学ぶ。	まず地球温暖化と都市温暖化の実態を理解し、次いで省CO ₂ を実現する需要と供給両側面のエネルギー・マネジメントについて、工学的及び建築学的条件の最先端技術を学ぶことを目標とする。	◎							◎	○	○		◎
産官民提携講座Ⅳ W331-861-11	社会問題の解決に貢献するソーシャルビジネスの創業・経営者を講師として招聘し、産官では対応できない問題に市民セクターがどのような取り組みをしているかを学ぶ。	第1に社会問題と解決策の最先端を学び生活者としての視野を広げ、第2に社会起業家との対話を通じて異文化コミュニケーション能力の向上を目指す。	◎							◎	○	◎		◎
産官民提携講座Ⅴ W331-861-12	まちづくり、地域活性化等で課題を抱える連携先とともに、課題克服策を検討し、対策を実践するフィールドワーク型の演習である。	地域問題の診断力、解決策の立案力、実務家への提案力と協働を通じた変革推進を支えるプロジェクトマネジメント力等の修得を目標とする。	◎				◎	◎		◎	○	◎		◎
産官民提携講座Ⅵ	本年度開講せず													

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項

○・・・DP達成のために、重要な事項

△・・・DP達成のために、望ましい事項